

東北地区 大学図書館協議會誌

第 74 号
令和 5 年 5 月



岩手医科大学矢巾キャンパス食堂棟（2階が図書館）

寄稿 大学図書館職員初任者マニュアルの改訂に寄せて	1
第77回東北地区大学図書館協議會總會資料	5
總會議事メモ	41
図書館統計年報	42
東北地区大学図書館協議會總會当番地区・当番大学	45
東北地区大学図書館協議會役員館一覧	46
東北地区大学図書館協議會會則等	47
東北地区大学図書館協議會加盟館名簿	58

寄 稿

大学図書館職員初任者マニュアルの改訂に寄せて

東北地区大学図書館協議会 研修部会

杉山 禎広 (秋田大学)

佐々木 亜紀子 (東北大学)

一町田 学 (青森公立大学)

羽賀 新一 (東北学院大学)

小原 陽子 (富士大学)

1. はじめに

東北地区大学図書館協議会研修部会は、同協議会研修検討ワーキンググループを前身として2008(平成20)年9月1日に設置されました。大学図書館職員初任者マニュアルの初版が発行されたのは、研修部会の設置からわずか2年半後の2011(平成23)年3月のことでした。翌年の2012(平成24)年に第2版が発行され、2016(平成28)年までの研修部会の休会を経て、図書館を取り巻く状況の変化を反映した第3版を11年ぶりに発行しました。

研修部会ではフレッシュパーソンセミナーを隔年開催していますが、本マニュアルは図書館部門への採用や人事異動による着任からセミナー受講までの間をフォローし、担当外の業務についても予習できるように作成しました。

本文ファイルは協議会のWebサイト¹にてPDF版及びWord版を配布しており、各館の事情に合わせて内容を改変して使用することができます。

本稿では、第3版の主な変更点と追加点について紹介します。

2. 全体として

本マニュアルは以下の章立てとしています。これは旧版と同一で、図書館業務の基本的な区分については組み替える必要は無いと判断しました。

また、全体を通して初任者が自ら学習できるように脚注を充実させ、参考文献やURLを更新し、字句の体裁を統一しました。

1. 大学図書館の基礎知識
 2. 利用者サービス
 3. 図書館資料と資料管理
 4. 管理運営
 5. 大学図書館員として
- 付録 大学図書館業務内容一覧

¹ <https://www.library.tohoku.ac.jp/tohokuchiku/>

3. 主な変更点

第3版での変更点は大きく分けると下記の4つに分類できます。

- ① 大学図書館に関連する法令等の改正
- ② 新たなサービスや関係団体
- ③ 既存項目の充実と状況の更新
- ④ コロナ禍による影響

① 大学図書館に関連する法令等の改正

制度面の変化として取り上げたのは、大学設置基準と著作権法の改正です。いずれも資料及び図書館サービスの電子化の影響を受けたものであり、様々な分野での電子化の広がりには制度を変えさせるほどのインパクトの強いものでした。大学設置基準は図書館サービスを来館前提のものから非来館型を強く意識したものとなり、著作権法改正により図書館から文献をE-mailやFAXで利用者に直接届けられるようになりました。電子化の進展による影響は本マニュアルでも様々な部分で表れています。

② 新たなサービスや関係団体

学術認証フェデレーション(学認)と研究データ管理基盤(GakuNin RDM)を新たに紹介しています。学認の運用開始は2009(平成21)年ですが、旧版では触れられていませんでした。しかし、現在の普及状況とコロナ禍による学外アクセスの必要性の高まりから触れることにしました。GakuNin RDMはいまのところ参加大学数は多くありませんが、研究データ等を公開するオープンサイエンスの重要性が強く訴えられており、図書館にとって今後重要となる可能性があることから記載することにしました。

関係団体では、大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)とオープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)に新たに触れています。いずれも参加館数500以上の非常に大きな団体であり、その活動は非参加館の方にも何らかの形で影響があるため知っておいてもらいたく記載しました。

③ 既存項目の内容充実と状況の更新

ラーニングコモンズ、目録、広報及び安全管理の内容を充実させ、学術雑誌をめぐる状況を更新しました。

ラーニングコモンズについては、旧版では「ラーニングコモンズの設置が相次いで～、発展途上で定義もあいまいですが～」という記載でしたが、現在では文部科学省のWebサイトで用語解説がされるほど普及してきたことから定義などを詳しく記載しました。また、閲覧室の説明を個人利用を前提としたものから、グループ学習を含めた説明に変更し、運営の際に気を付けるべき点なども記載しました。目録については、2020(令和2)年8月のCAT2020運用開始に続き、2023(令和5)年1月からは新NACSIS-CAT/ILLの運用が始まったこと、将来的には「日本目録規則2018年版」の適用が検討されていることから、

記載を充実させました。広報については、携帯端末の高性能化やSNSの普及に伴い広報手段が多様化したことから内容を大幅に変更し充実させました。安全管理については、近年頻発している地震や大型台風等の災害の経験から、参考文献を拡充しました。

学術雑誌をめぐる状況は、旧版発行当時からシリアルズ・クライシスと呼ばれるほど購読価格が高騰していましたが、現在ではさらに悪化して購読規模を維持できない館が出る事態となっています。このことから雑誌選定方法の項目を充実、ペーパービュー(PPV)の説明を追加、新たな契約形態として注目されている転換契約について触れました。

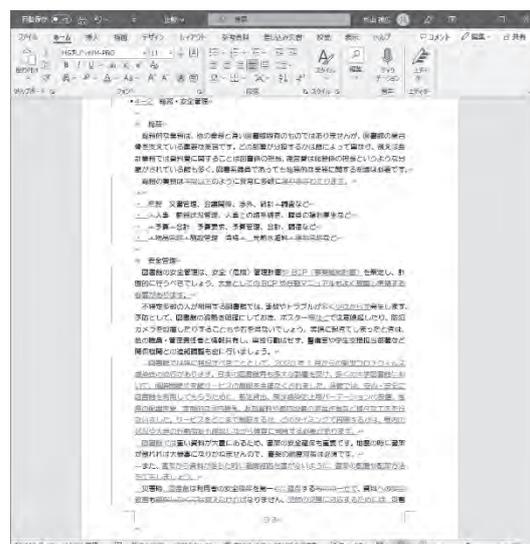
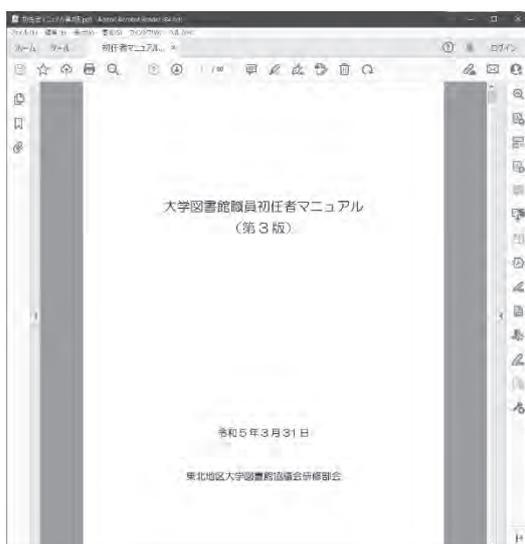
④ コロナ禍による影響

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は大学図書館の運営に大きな影響を及ぼしました。それを受けて、各館での対応策や運営に際して気を付けるべき点について、安全管理の項目に新たに記載しました。関連して、来館不要で利用できる電子資料が注目されたことから電子ブックの説明を充実させ、学外からのアクセスを可能とする学認及びVPNについて触れました。また、非来館型サービスとしてオンライン講習会の説明を追加しました。

4. おわりに

主な変更等は上記の通りですが、誤解の恐れのある表現の修正、名称やURLが変わったサービスの修正など細かな変更は多岐にわたり、ほぼすべての項目で何らかの変更が加えられています。また、総ページ数は旧版より20ページほど増量となっていますが、これは項目の追加の他、脚注を充実させたことによるものです。本文記載の根拠となる脚注を確認することにより、より学習効果が高まることを期待しています。

最後に、本マニュアルの改訂を辛抱強くお待ちくださった皆様と改訂作業を支えてくださった歴代の協議会事務局の皆様へ感謝申し上げます。



第 77 回

東北地区大学図書館協議会 総会

当番館：岩手医科大学附属図書館

期 日：2022(令和 4)年 9 月 21 日(水)
～2022(令和 4)年 9 月 27 日(火)
(メール会議)

第 77 回東北地区大学図書館協議会総会 資料目次

1. 報告事項

- 【資料 1】 令和 3 年度活動報告
- 【資料 2】 令和 3 年度一般報告
- 【資料 3】 令和 3 年度研修部会活動報告
- 【資料 4】 第 80 回記念事業(案)の募集について

2. 協議事項

- 【資料 5】 令和 3 年度決算書(案)
- 【資料 6】 令和 3 年度記念事業基金決算書(案)
- 【資料 7】 令和 3 年度会計監査報告
- 【資料 8】 令和 4 年度事業計画(案)
- 【資料 9】 令和 4 年度予算書(案)／令和 4 年度記念事業基金予算書(案)
- 【資料 10】 第 78 回総会の当番地区(館)について

3. 承合事項

- 【資料 11】 館内の地震対策について
- 【資料 12】 冊子体の雑誌の保存・廃棄基準について

令和3年度活動報告

(常任幹事館:東北大学附属図書館)

第76回(令和3年3月)以降の協議会の活動について、以下の通り報告する。

1. 研修会の開催

1-1) 令和3年度国立大学図書館協会東北地区協会職員研修(職員の企画・運営による職員のためのワークショップ)

主 催:国立大学図書館協会東北地区協会

後 援:東北地区大学図書館協議会

日 時:令和4年1月27日(木)13:20~17:00

会 場:オンライン形式

内 容:コミュニケーションの場をひらく:図書館が企画するこれからのワークショップ

講 師:加藤文俊氏(慶應義塾大学環境情報学部教授)

参加者:24名(うち、第3部まで参加は4名、主催者・講師を除く)

(内訳:国立大学18名、公立大学1名、私立大学4名、その他1名/青森県1名、岩手県2名、宮城県8名、秋田県3名、福島県5名、東北地区外5名)

1-2) 令和3年度東北地区大学図書館協議会合同研修会

日 時:令和4年8月31日(水)13:20~15:30

会 場:オンライン形式

内 容:著作権法第31条改正への対応

講 師:小池信彦氏(日本図書館協会著作権委員会委員長)、福林靖博氏(国立国会図書館利用者サービス部サービス企画課課長補佐)

参加者:124名(内訳:国立大学61名、公立大学17名、私立大学46名/青森県8名、岩手県22名、宮城県61名、秋田県8名、山形県10名、福島県15名)

2. 協議会誌の刊行

令和4年5月付で『東北地区大学図書館協議会誌』第73号を刊行し、加盟館及び国立国会図書館等関係機関に配布した。

3. 加盟館数(令和4年5月現在)

63館(国立15館、公立12館、私立36館)

4. その他

加盟館の下記の状況について、協議会ウェブサイトに掲載した。

・令和4年3月16日発生の福島県沖地震の加盟館の被害・復旧状況について(令和4年5月)

令和3年度 一般報告:国公立大学図書館等の動向

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

1 国公立大学図書館協力委員会関連

1) 令和3年度大学図書館シンポジウム

諸般の事情により開催を見送り

2) 第90回国公立大学図書館協力委員会

日時：令和3年7月16日(金)

会場：オンライン

3) 第91回国公立大学図書館協力委員会

日時：令和3年12月8日(水)

会場：オンライン

2 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議関連

<https://contents.nii.ac.jp/cpc/documents>

1) 第23回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

日時：令和4年2月16日(水) 15:00~17:00

会場：オンライン

出席：筑波大学、東京大学、横浜市立大学、大阪市立大学、慶應義塾大学、
早稲田大学、国立情報学研究所

議事：○トピックレクチャー『国内学術電子ブックにおける電子リソースデータについて—現状及び今後に向けての試み—』（紀伊國屋書店営業総本部学術情報販売促進本部 本部長兼雑誌部長 役員待遇 川村俊之氏）

1. 前回議事要旨について
2. 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)の活動について
3. これからの学術情報システム構築検討委員会の活動について
4. オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)の活動について
5. 国立情報学研究所 学術コンテンツ事業について
6. 国公立大学図書館協力委員会の最近の動向について

2) 第24回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

日時：令和4年6月29日(水) 14:00~16:00

場所：オンライン

出席者：筑波大学、東京大学、横浜市立大学、大阪市立大学、慶應義塾大学、
早稲田大学、国立情報学研究所

議事：○トピックレクチャー『電子ジャーナル問題の切り札の一つとしての「転換契
約』』

1. 前回議事要旨について
2. 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）の活動について
3. これからの学術情報システム構築検討委員会の活動について
4. オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）の活動について
5. 国立情報学研究所 学術コンテンツ事業について
6. 国公立大学図書館協力委員会の最近の動向について

3) 2021 年度大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）総会

<https://contents.nii.ac.jp/justice>

日時：令和4年3月4日（金）13:00～16:00

会場：一橋大学一橋講堂中会議場及びオンライン

議事：1. 報告事項

- (1) 2021 年度の活動について
- (2) 電子資料に関する JUSTICE の成果と今後の活動の方向性について

2. 事例報告

- (1) 九州大学における電子ジャーナルパッケージの解体
－影響調査とその後－

報告者：JUSTICE 運営委員会委員

（九州大学附属図書館 e リソース課長）堀 優子

4) これからの学術情報システム構築検討委員会

<https://contents.nii.ac.jp/korekara>

第30回（令和3年9月6日）、第31回（令和3年11月22日）、第32回（令和4年
1月26日）、第33回（令和4年6月17日）に委員会を開催

会議資料・議事録：<https://contents.nii.ac.jp/korekara/about/document>

5) 2021 年度オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）総会

<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/>

日時：令和4年3月16日（水）13:30～15:15

会場：オンライン

議案：第1号 2022 年度会長選出について

第2号 2022 年度監事選出について

- 第3号 2022年度運営委員会委員について
- 第4号 会費規程の2022年度特例措置について
- 第5号 JAIRO Cloudを共同リポジトリとして利用する場合の会費等に関する細則の改正について
- 第6号 JPCOAR活動方針(2022-2026年)について
- 第7号 2022年度活動計画について
- 第8号 2022年度予算について

- 報告：1) 2021年度活動について
2) 2021年度決算について
3) 次期 JAIRO Cloud (WEKO3) への移行について

会議資料・議事録：<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/>

3 令和3年度国立情報学研究所(NII)研修事業

1) 専門研修

- (1) 目録システム書誌作成研修(オンライン)
- (2) 情報処理技術セミナー(オンライン)

2) 総合研修

- (1) 大学図書館員のためのIT総合研修(オンライン)
- (2) 大学図書館職員短期研修(オンライン)

4 国立国会図書館 関連

1) 令和3年度国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会

日時：令和3年12月8日(水)

会場：オンライン

5 最近のトピックス

1) 大学設置基準改正タスクフォースの活動について

【「国公立大学図書館協力委員会 2021年度活動報告」より抜粋】

大学設置基準の改正について大学設置基準改正タスクフォースを設置し、各協(議)会への意見聴取を行った。「2040年の高等教育に対応しうる大学図書館像を踏まえた大学設置基準の改正の検討について」と「大学設置基準(昭和31年文部省令第28号)国公立大学図書館協力委員会改正試案新旧対照表(関係部分)」とする資料2点を作成して同タスクフォースは解散とした。

資料2点は4月21日に文部科学省研究振興局に提出した。この資料は国公立大学図書館協力委員会のWebサイトで公開している。

2) 大学図書館著作権第 31 条改正についての対応

【「国公立大学図書館協力委員会の最近の動向（2022 年 6 月 29 日付）」より抜粋】

「国立国会図書館による入手困難資料の個人送信に関する関係者協議会」「資料デジタル化及び利用に関する関係者協議会」「図書館等公衆送信サービスに関する関係者協議会」「著作権に関する図書館団体懇談会」等の諸会議に参加し、図書館関係の権利制限規定の見直しについての協議検討を行っている。

一般社団法人学術著作権協会と国公立大学図書館協力委員会との間で取り交わした「大学図書館間協力における資料複製に関する合意書」の有効期間を 1 年更新することについて、大学図書館著作権検討委員会において検討した後これを了承し、3 月 7 日付にて合意書を交わした。

文化庁「改正著作権法第 31 条の改正等によって国立国会図書館での絶版等資料の利用者直接送信が可能となり、その仕組みづくりが進められている状況において、同様の資料を所蔵する大学図書館でも効果的な利用者サービスの実現を目指すことが必要である。

第 90 回協力委員会（2021 年 7 月 16 日）および第 91 回協力委員会（2021 年 12 月 8 日）での協議を経て設置した「国公立大学図書館協力委員会と国立国会図書館との連携に係る検討会議」では、双方から選出された構成員により、実務担当者レベルでの協議検討を行っており、2022 年 6 月までに 3 回の会議を開催した。

国立大学部会関係

(幹事館:東北大学附属図書館)

1. 国立大学図書館協会(<https://www.janul.jp/>) 関連

1) 第69回国立大学図書館協会総会

日 程:令和4年6月23日(木)10:00~16:35

場 所:オンライン会議(投票)により実施(当番館:金沢大学附属図書館)

議 事: 1.開会式

2.特例措置について

3.全体会議(1)

1)報告事項

①一般経過報告

2)協議事項

①令和4年度理事・監事の選出について

②令和3年度決算報告・同監査報告について

③令和3年度記念基金決算報告・同監査報告について

④令和4年度事業計画(案)について

⑤令和4年度予算(案)について

⑥委員会設置要項について

⑦その他

4.文部科学省所管事項説明

5.国立情報学研究所事業説明

6.大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議報告

7.研究集会(テーマ:大学図書館の新しいあり方)

8.全体会議(2)

1)協議事項の投票結果の報告

2)理事会への付託事項の確認

3)事務局報告

9.次期当番館挨拶

10.閉会式

関連資料:<https://www.janul.jp/ja/operations/general>

2) 令和3年度国立大学図書館協会秋季理事会

日 時:令和3年11月12日(金)14:00~16:55

場 所:オンライン(Zoom)、および東京大学附属図書館3階大会議室

議 事:1. 報告事項

- (1) 第68回総会(R3.6.25)等について
- (2) 各委員会等報告
- (3) 各地区協会報告
- (4) 地区協会助成事業について
- (5) 国公立大学図書館協力委員会報告
- (6) 日本図書館協会関連報告
- (7) 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)報告
- (8) これからの学術情報システム構築検討委員会報告
- (9) オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)報告
- (10) その他

2. 協議事項

- (1) 委員会事業内容(案)および令和3年度事業計画(案)について
- (2) 委員会構成の変更に伴う規則改正について
- (3) 令和4年度海外派遣事業について
- (4) 各会員館のサービス状況を共有することについて
- (5) オープンサイエンスの推進に向けた協会の行動計画にかかる予算措置について
- (6) ビジョン2025の推進にかかる予算措置について
- (7) 日本私立大学連盟の提言「ポストコロナ時代の大学のあり方～デジタルを活用した新しい学びの実現～」について
- (8) 今後の総会について

3) 令和3年度国立大学図書館協会春季理事会

日時: 令和4年5月20日(金)14:00～17:05

場所: オンライン(Zoom)、および東京大学附属図書館3階大会議室)

議事: 1. 報告事項

- (1) 各委員会等報告
- (2) 各地区協会報告
- (3) 地区協会助成事業報告
- (4) 国公立大学図書館協力委員会報告
- (5) 日本図書館協会報告
- (6) 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)報告
- (7) これからの学術情報システム構築検討委員会報告
- (8) オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)報告
- (9) 災害等の影響について
- (10) その他

2. 協議事項

- (1) 委員会設置要綱(案)について
- (2) 大規模災害が発生した場合の対応について
- (3) 大学設置基準改正に対する国立大学図書館協会の考えについて
- (4) 令和3年度決算(案)について
- (5) 令和4年度事業計画(案)について
- (6) 令和4年度予算(案)について
- (7) 関係団体への派遣役員について
- (8) 第69回総会について
- (9) 第70回総会の当番館・日程について
- (10) その他

4) 令和4年度国立大学図書館協会第1回理事会

日 時: 令和4年6月23日(木)16:40~17:10

場 所: オンライン

- 議 事:
1. 会長・副会長選出
 2. 委員会委員長の指名について
 3. 災害対策拠点の選出について
 4. 理事会付託事項について
 5. 国大図協シンポジウム・セミナーの開催について
 6. 今後の日程および開催方法について

5) 声明・見解・要望等

標 題: 大学設置基準改正に対する国立大学図書館協会の考え

公表日: 令和4年5月20日(金)

内 容: https://www.janul.jp/sites/default/files/2022-05/press_release_20220525.pdf

2. 国立大学図書館協会東北地区協会 関連

1) 令和3年度国立大学図書館協会東北地区協会事務連絡会議

日 時: 令和3年12月10日(金)13:30~15:00

場 所: オンライン(Zoom)により実施(当番館: 福島大学附属図書館)

議 事: 1. 報告事項

- (1) 令和3年度国立大学図書館協会秋季理事会について
- (2) 令和3年度国立大学図書館協会地区助成事業について
- (3) 図書系専門試験委員会について

2. 承合事項

- (1) 大学施策における図書館の位置づけについて

- (2) 図書館の各事業・活動における教員との連携・協働について
- (3) 研究推進(オープンアクセス・オープンサイエンス含む)に係る事業への図書館の関与について
- (4) 新型コロナウイルス感染症への対応に関する意思決定プロセスについて

3. その他

- (1) 次回事務連絡会議当番館の確認
- (2) 各館の最近の活動状況(トピックス)について

2) 第53回国立大学図書館協会東北地区協会総会

日時: 令和4年4月25日(月)10:00~11:55

場所: オンライン(Webex)により実施(当番館: 岩手大学図書館)

議事: 1. 報告事項

- (1) 国立大学図書館協会について
- (2) 文部科学省科学技術・学術審議会情報委員会 オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方検討部会について

2. 協議事項

- (1) 国立大学図書館協会東北地区協会理事・当番館等について
- (2) 第69回国立大学図書館協会総会に向けての準備事項について
- (3) 国立大学図書館協会地区助成事業への対応について

3. 承合事項

- (1) 電子ジャーナルに係る経費負担について
- (2) 図書館の組織体制について

3. その他

1) 第95次国立七大学附属図書館協議会

日時: 令和3年11月26日(金)9:30~11:30

場所: オンライン会議により実施(当番館: 九州大学附属図書館)

議事: 1. 図書館の組織体制と管理運営の状況について

2. ポストコロナの図書館サービスと安全性の確保について

3-1. ジャーナル問題検討部会「我が国の学術情報流通における課題への対応について(審議まとめ)」への対応状況及びオープンアクセス出版モデル提案への対応状況(東北大学提案)

3-2. 電子ジャーナルの契約タイトル選定について(名古屋大学提案)

4. 研究データ管理に係る大学の対応について(九州大学提案)

5. その他

公立大学部会関係

(幹事館：青森県立保健大学附属図書館)

○令和4年度公立大学協会図書館協議会総会

期日：令和4年6月17日（金）

形式：オンライン会議

開催館（会長館）：愛知県立大学学術研究情報センター図書館

講演

「公立大学の現状と課題」一般社団法人公立大学協会 事務局長 中田 晃 氏

「大学図書館に関する最近の動向」文部科学省研究振興局参事官(情報担当)付学術基盤
整備室 大学図書館係長 本多 竜二 氏

議事

報告事項

- (1) 令和3年度事業報告
- (2) HP委員会報告
- (3) 地区活動報告
- (4) 関係委員会等報告
- (5) 「改革小委員会最終報告」への意見等について
- (6) その他

協議事項

- (1) 公立大学協会図書館協議会入会大学について
- (2) 役員の選出について
- (3) 令和3年度決算報告
- (4) 令和3年度監査報告
- (5) 令和4年度事業計画（案）について
- (6) 令和4年度予算（案）について
- (7) 公立大学協会図書館協議会会則の一部変更について
- (8) 大学図書館職員長期研修及び短期研修への派遣について
- (9) 会議関係諸規程の改正等について
- (10) 表彰規程等の廃止について
- (11) 改革実施小委員会の設置について
- (12) 関係委員会委員等の推薦について
- (13) 派遣委員会の委員交代について
- (14) その他

○2022 年度公立短期大学図書館協議会総会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面回議による開催

期日：未定

総会当番館：大月市立短期大学図書館（会長館）

議事：未定

○2022 年度公立短期大学図書館協議会研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止等のため中止

私立大学部会関係

(幹事館:東北生活文化大学,奥羽大学)

私立大学図書館協会・東地区部会を中心に(2021年9月1日～2022年8月31日)

加盟校 525校(2021年9月9日現在) 東地区部会 271校

※東北地区加盟校(50音順) 26校

秋田看護福祉大学、石巻専修大学、医療創生大学、岩手保健医療大学、奥羽大学、郡山女子大学、柴田学園大学、尚絅学院大学、仙台白百合女子大学、仙台大学、東北医科薬科大学、東北学院大学、東北芸術工科大学、東北工業大学、東北福祉大学、東北文化学園大学、東北文教大学・東北文教大学短期大学部、日本赤十字秋田看護大学、日本大学工学部、ノースアジア大学、八戸学院、八戸工業大学、東日本国際大学、富士大学、宮城学院女子大学、盛岡大学

○第82回(2021年度)私立大学図書館協会総会・研究大会

テーマ「知の基盤としてのデジタルアーカイブを考える」

日時:2021年9月2日(木)～2021年9月10日(金)

方法:オンライン

形式:e-mailとWeb入力フォームを活用した個別回答方式

総会

1. 報告事項

- ①協会賞(2020年度審査決定:2021年度表彰)
- ②研究助成(2020年度決定:2021年度助成対象)
- ③2020年度 協会会務報告
- ④2020年度 委員会報告
- ⑤2020年度 協会関連事項報告
- ⑥2021年度 協会役員校、委員会および協会関連団体委員
- ⑦2020年度 ご寄付をいただいた企業

2. 総会議案

- ①2020年度 一般会計・特別会計決算報告(案)
- ②国際図書館協力基金規定改正(案)
- ③2021年度 事業計画(案)
- ④2021年度 一般会計・特別会計予算(案)
- ⑤2021～2022年度 協会役員校(案)
- ⑥2021年度 新規加盟校および脱退校(案)

研究大会

1. 記念講演

演 題:「「ものを写すこと」の歴史 –デジタルアーカイブに至るまで–」

講演者:山田 邦明 氏(愛知大学文学部教授・元図書館長)

2. 講演①

演 題:「デジタルアーカイブと大学図書館のあり方–研究者の目線から–」

講演者:内田 慶市 氏(関西大学名誉教授・元図書館長)

3. 講演②

演 題:「信州ナレッジスクエア」のご紹介

–みんなで育て、活用する地域情報資源のポータルサイト–

講演者:森 いづみ 氏(県立長野図書館長)

4. 事例報告

演 題:「愛知大学の研究資源デジタルアーカイブ構築と公開の経過について」

講演者:塩山 正純 氏(愛知大学図書館長)

5. 研究助成発表

日 時:2021年9月10日(金)~2022年3月20日(日)

方 法:動画または資料を私立大学図書館協会 HP 内加盟館限定ページで公開

テーマ:「短期大学紀要論文のアクセス可能性の向上に寄与する

–『全国短期大学紀要論文索引』の採録誌調査を通して–」

発表者:伊藤 民雄 氏(実践女子大学図書館)

○2022年度私立大学図書館協会東地区部会総会

日 時:2022年6月10日(金)~2022年6月16日(木)

主 催:成蹊大学

形 式:e-mailとWeb入力フォームを活用した個別回答方式

I. 協議事項

(1)報告事項

①2021年度 東地区部会報告

②2021年度 協会関係報告

③2022年度 協会役員校、委員会および協会関連団体委員

(2)協議事項

①2021年度 東地区部会事業報告

②2021年度 東地区部会決算報告及び監査報告

③2021年度 東地区部会研究部決算報告及び監査報告

- ④2022 年度 東地区部会事業計画(案)及び予算(案)
- ⑤2022 年度 東地区部会研究部活動計画(案)及び予算(案)
- ⑥「私立大学図書館協会東地区部会研究部細則」の一部改正(案)

○2022 年度私立大学図書館協会東地区部会館長会

日 時:2022 年 6 月 10 日(金)

主 催:成蹊大学

方 法:オンライン開催(Zoom)

テーマ:「NACSIS-CAT/ILL の再構築と機能強化について—紀伊国屋書店の考察—」

講演者:田原 誠子 氏(株式会社紀伊国屋書店 教育支援システム本部)

東北地区大学図書館協議会研修部会の活動について

1. 研修部会名簿

任期：2021年9月1日～2023年8月31日

部会	所 属	職 名	氏 名〔備考〕
国立	秋田大学附属図書館	主 査	すぎやま ただひろ 杉山 禎広
国立	東北大学附属図書館農学分館 (～2022年6月) 東北大学附属図書館医学分館 (2022年7月～)	主 任	ささき あきこ 佐々木 亜紀子〔庶務幹事〕
公立	青森公立大学図書館	主 査	いっちょうだ まなぶ 一町田 学
私立	東北学院大学図書館	課長補佐 参 与	ささき あつし 佐々木 篤〔主査(～2022年5月)〕 は が しんいち 羽賀 新一 (2022年6月～)
私立	富士大学図書館	調 査 役	おぼら ようこ 小原 陽子〔主査(2022年6月～)〕

2. 研修部会開催状況

2-1. 第1回研修部会（キックオフミーティング）

日 時：2021年11月29日（月）13：30～15：15

会 場：オンライン（Zoom）

出席者：杉山禎広（秋田大）、佐々木亜紀子（東北大）、一町田学（青森公大）
佐々木篤（東北学院大）、小原陽子（富士大）

陪 席：細川聖二、田口秀樹（協議会事務局：東北大）

概 要：委員の確認、主査・庶務幹事の決定。フレッシュパーソンセミナーの開催、
大学図書館職員初任者マニュアルの改訂等について話し合った。

2-2. 第2回研修部会（ミーティング）

日 時：2022年6月28日（火）10：00～11：30

会 場：オンライン（Zoom）

出席者：杉山禎広（秋田大）、佐々木亜紀子（東北大）一町田学（青森公大）
羽賀新一（東北学院大）、小原陽子（富士大）

陪 席：檜原啓一（協議会事務局：東北大）

概 要：委員の交代、主査の決定。大学図書館職員初任者マニュアルの改訂にむけ、
スケジュールや作業分担（マニュアル1,2章）について話し合った。

2-3. 第3回研修部会

日 時：2022年8月3日（水）14：00～15：55

会 場：オンライン（Zoom）

出席者：杉山禎広（秋田大）、佐々木亜紀子（東北大）、一町田学（青森公大）
羽賀新一（東北学院大）、小原陽子（富士大）

陪 席：檜原啓一（協議会事務局：東北大）

概 要：大学図書館職員初任者マニュアル(第2稿)の記述内容の確認について

3. 大学図書館職員初任者マニュアル改訂作業の進捗

第2版（2012年）をベースに、第1章及び第2章の改訂を行った。詳細は別紙参照

以 上

第 80 回記念事業(案)の募集について

(常任幹事館:東北大学附属図書館)

当協議会では、10 年に一度、記念事業を実施している。前回は第 70 回総会を記念して実施されており、次回は第 80 回総会(2025 年 9 月予定)を記念したものとなる予定である。また、記念事業の実施に際しては、記念事業基金積立要項に従い、基金を積み立てている。

については、次回の第 80 回記念事業に向けて、事業案を加盟館より募集する予定である。提案のあった事業案は、幹事会において検討の上、次回総会において協議予定である。

募集期間:準備ができ次第～2023 年 3 月頃

募集方法:Google フォームにて ※詳細は、常任幹事館より別途送付予定

[参考:最近の記念事業の検討・実施経緯について]

■第 60 回記念事業

- ・2004 年 9 月、第 59 回総会において、記念事業(案)について各部会で検討し、全体会議で「パンフレットの作成」「研修会の開催」「記念誌の作成」が提案され、「後日、幹事会で検討し、加盟館に成案を諮った上で、次回総会までの実施」が承認された。
- ・2004 年 11 月の幹事会において「パンフレットの作成」が採択され、「研修会」の在り方については次回総会にて検討、「記念誌の作成」は第 60 回以降の事業として次回総会にて検討を行うこととなった。
- ・2005 年 1 月～5 月、加盟館より募った記念事業編集委員会により、編集作業が行われた。
- ・2005 年 7 月第 60 回記念事業「図書館のすすめ－大学図書館ガイド－(<https://www.library.tohoku.ac.jp/tohokuchiku/susume.html>)」発行。
- ・2005 年 9 月第 60 回総会開催。

■第 70 回記念事業

- ・2014 年 9 月、第 69 回総会において、「原案を幹事館から提案し、加盟館の意見を聞きながら実施していく」ことで承認された。
- ・2015 年 7 月、常任幹事館より幹事館へ企画提案。
- ・2015 年 9 月、第 70 回総会において、事務局より提案があり、原案通り承認された。
- ・2015 年 9 月、加盟館へ原稿提出依頼を发出。
- ・2016 年 4 月、第 70 回記念事業「東北地区大学図書館アーカイブ(<https://www.library.tohoku.ac.jp/tohokuchiku/archive.html>)」発行。

令和3年度 決算書 (案)

自 令和3年9月 1日

至 令和4年8月31日

(収入の部)

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	比較増減 (円)	摘要
繰越金	1,814,463	1,814,463	0	
会費	756,000	756,000	0	12,000×63館
雑収入	100,015	120,015	20,000	協議会誌第73号協賛広告(20,000円×6社)、利子
計	2,670,478	2,690,478	20,000	

(支出の部)

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	比較増減 (円)	摘要
会誌印刷費	520,000	396,880	△ 123,120	会誌第73号、振込手数料
総会補助費	200,000	0	△ 200,000	
事業費	150,000	30,660	△ 119,340	合同研修会講演謝金、振込手数料
部会活動費	150,000	0	△ 150,000	
通信運搬費	60,000	62,480	2,480	会誌郵送料、振込手数料
積立繰入金	75,600	75,600	0	
会議費	20,000	0	△ 20,000	
消耗品費	20,000	0	△ 20,000	
雑費	30,000	0	△ 30,000	
予備費	1,444,878	2,124,858	679,980	
計	2,670,478	2,690,478	20,000	

令和3年度 記念事業基金決算書（案）

自 令和3年9月 1日

至 令和4年8月31日

(収入の部)

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	比較増減 (円)	摘要
繰越金	813,348	813,348	0	
積立金	75,600	75,600	0	記念事業実施のための積立
雑収入	6	7	1	利子
計	888,954	888,955	1	

(支出の部)

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	比較増減 (円)	摘要
事業費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
次年度繰越	888,954	888,955	1	
計	888,954	888,955	1	

令和3年度 東北地区大学図書館協議会 会計監査報告

1. 日 時:令和4年9月2日(金)~9月9日(金)
2. 場 所:メールで書類を送付しての監査
3. 監査対象期間:令和3年9月1日~令和4年8月31日
4. 監査結果:東北地区大学図書館協議会会則第7条に基づき、東北地区大学図書館協議会の監査対象期間に係る収支計算書等について監査を行いました。監査に当っては会計帳簿の調査及び計算書類の検討等通常必要と認められる手続きで実施しました。
監査の結果、上記計算書類は、前事業年度と同一の基準及び手続きに基づき、当該事業年度の収支の状況及び財産の状況を適正に示しているものと認めます。

令和4年9月9日

監査館

会津大学短期大学部附属図書館

図書館長

柴崎 恭秀



仙台白百合女子大学図書館

事務長

石岡 宏美



令和 4 年度 事業計画(案)

令和 4 年 9 月 1 日～令和 5 年 8 月 31 日

1. 第 77 回総会の開催

令和 4 年 9 月 21 日(水)～9 月 27 日(火)、岩手医科大学を当番館として開催(メール会議により実施)

2. 会誌第 74 号の刊行

令和 5 年 4 月 刊行予定

3. 研修部会の活動

- ① 2023(令和 5)年フレッシュパーソンセミナーの開催
- ② 「大学図書館職員初任者マニュアル」の改訂(前期から継続)
- ③ 東北地区に必要な研修の検討:研修ロードマップの作成
(フレッシュパーソンセミナーとは異なるレベルの研修の必要性)

4. 合同研修会の開催

開催当番 秋田地区の予定(次頁のとおり)

5. 職員の表彰

- ① 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等に優れた業績のあった者
- ② 協議会の運営、発展のために功績のあった者

6. 記念事業基金の積立

令和 4 年度通常会計から、記念事業基金(75,600 円)を繰入予定

令和4年度合同研修会について

(常任幹事館:東北大学附属図書館)

[提案理由]

令和4年度は **秋田地区** が開催当番の予定になっているので、確認願いたい。

[参考]東北地区大学図書館協議会合同研修会

年度	当番地区	会場大学	テーマ
22	秋田	秋田大学	図書館を守る
23	山形	山形大学	学生、教職員そして社会が求める大学図書館職員像
24	福島	福島大学	図書館における学習支援に関するサービスの現状と展望について
25	宮城	東北大学	アクティブラーニングとは何か?その実践とは?:アクティブラーニングを通じて大学図書館と大学のつながりを考える
26	青森	弘前大学	電子書籍サービスと学習・教育支援
27	岩手	岩手大学	図書館のコミュニケーション能力を考える:メディアリテラシーからの考察と初歩的な対応手法を学ぶ
28	秋田	秋田大学	これからの大学図書館員が進むべき方向を探る:オープンサイエンスが秘める可能性
29	山形	山形大学	著作権法改正と図書館サービス
30	福島	福島大学	「新しい学び」を創発する大学図書館・図書館職員の役割とは
元	宮城	東北大学 宮城教育大学	電子コンテンツ、オープンアクセス、そして JUSTICE [オンライン開催]
02	青森	弘前大学	学生目線での図書館改革[オンライン開催]
03	岩手	岩手大学	著作権法第31条改正への対応[オンライン開催]
04	秋田		
05	山形		
06	福島		
07	宮城		
08	青森		
09	岩手		

※会場大学の決定については、当番地区において協議するものとする。

※当番地区の輪番制については、平成22年9月16日承認、平成28年9月30日更新

【資料9】

令和4年度 予算書 (案)

自 令和4年9月 1日

至 令和5年8月31日

(収入の部)

項目	3年度予算額 (円)	4年度予算額 (円)	増減 (円)	摘要
繰越金	1,814,463	2,124,858	310,395	
会費	756,000	756,000	0	12,000×63館
広告協賛金	100,015	120,000	20,000	会誌第74号協賛広告 (20,000円×6社)
雑収入		15	0	利子
計	2,670,478	3,000,873	330,395	

(支出の部)

項目	3年度予算額 (円)	4年度予算額 (円)	増減 (円)	摘要
会誌印刷費	520,000	520,000	0	会誌第74号
総会補助費	200,000	200,000	0	実費精算
事業費	150,000	150,000	0	合同研修会補助、表彰関係
部会活動費	150,000	150,000	0	研修部会 (会議開催等)
通信運搬費	60,000	60,000	0	会誌郵送料等
積立繰入金	75,600	75,600	0	記念事業基金に繰入
会議費	20,000	20,000	0	
消耗品費	20,000	20,000	0	
雑費	30,000	30,000	0	
予備費	1,444,878	1,775,273	330,395	
計	2,670,478	3,000,873	330,395	

令和4年度 記念事業基金予算書 (案)

自 令和4年9月 1日

至 令和5年8月31日

(収入の部)

項目	3年度予算額 (円)	4年度予算額 (円)	増減 (円)	摘要
繰越金	813,348	888,955	75,607	
積立金	75,600	75,600	0	通常会計から繰入
雑収入	6	7	1	利子
計	888,954	964,562	75,608	

(支出の部)

項目	3年度予算額 (円)	4年度予算額 (円)	増減 (円)	摘要
事業費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
次年度繰越	888,954	964,562	75,608	
計	888,954	964,562	75,608	

第78回総会の当番地区(館)について

(常任幹事館:東北大学附属図書館)

〔提案理由〕

第78回総会は **福島地区** が当番の予定になっているので、確認願いたい。

〔参考〕

東北地区大学図書館協議会総会当番地区(館)予定

(第81回まで、平成29年9月22日承認)

回	年度	当番地区	会場大学	備考
64	21	宮城	仙台白百合女子大学	
65	22	秋田	国際教養大学	
66	23	山形	山形大学	
67	24	宮城	東北大学	
68	25	青森	八戸工業大学	
69	26	岩手	岩手大学	
70	27	宮城	宮城教育大学	
71	28	福島	福島大学	
72	29	秋田	秋田公立美術大学	
73	30	宮城	東北学院大学	
74	元	山形	山形大学	
75	2	青森	弘前大学	メール会議
76	3	宮城	宮城大学	メール会議
77	4	岩手	岩手医科大学	メール会議
78	5	福島	日本大学図書館工学部分館	
79	6	宮城		
80	7	秋田		
81	8	山形		

注1:会場大学については、当該地区において協議の上、開催予定の前年度総会に報告するものとする。

注2:開催地区のローテーションの確認について

①宮城地区は、他地区より大学の数が多いので、3年に1回割り振る。

②その他の地区は、次のローテーションによる。

青森地区、岩手地区、福島地区、秋田地区、山形地区

承合事項1: 館内の地震対策について(提案館: 東北大学附属図書館)

提案理由	<p>本学の本・分館では、2011年の東日本大震災以降、資料落下対策として、書架上部への落下防止バーの設置や傾斜スライド棚の導入、資料の利用頻度の少ない所にはチェーンやひもをかける、古典籍資料書架における“はめ込み式保存箱”の設置などの対策を施してきた。しかし、2021年2月及び2022年3月に発生した福島県沖地震において、一部の対策は効果があったものの、本・分館において多数の資料が落下した。</p> <p>については、資料落下防止の観点から、導入している、または、導入を検討している対策の事例があれば、ご教示いただきたい。</p>
弘前大学附属図書館	<p>当館では現在、資料落下対策をしている箇所は一部のみである。貴重資料保管庫に置かれている貴重資料は、中性紙の保管箱に入れ、落下防止用のバーが付いた書架に収めている。2021年に改修した雑誌棟1階の書架には、棚に滑り止めのシートを付けている。なお、落下防止のためではないが、2014年の本館改修工事の際に集密書架を増設している。集密書架においては閉じている部分の棚は資料が落下しにくくなったかと思われる。</p>
岩手大学図書館	<p>東日本大震災後、館内の地震対策として、書架上部へ落下防止バーの設置を行い対策を施した。2022年3月に発生した福島県沖地震を受け、現在、書庫内の和装本へ地震対策として、棚ネットの設置を検討している。</p>
東北大学附属図書館(本館)	<p>東北大学附属図書館本館では以下の対策を行っている。 場所により書架のメーカーが異なるため、防止策も異なっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・揺れを感知して自動で跳ね上がる落下防止バーを設置(普通書開架書架・上から2段) ・揺れを感知すると棚板の前側が高く、奥側が低くなるようにせり出す傾斜スライド棚を設置(普通書開架書架・上から3段) ・棚板の奥に合わせて配架(全書架) ・傾斜のある棚板の設置(和漢古典籍書架の一部で試行中) ・一部の貴重書について、棚の高さ・幅に合わせたオーダーメイドの保存箱をはめ込み(落下防止テープを棚板に貼付)、その中に資料を配架 ・地震による資料落下の復旧時に行った取り急ぎの対策として、棚板の前側に磁石をかませて簡易に傾斜をつけた上で1段ごとにビニール紐または平ゴムをかけて飛び出し防止を行った(和漢古典籍書架) <p>※イメージは、 https://www.library.tohoku.ac.jp/news/2021/TUL_EQ20220316report1.html を参照。</p>
東北大学附属図書館医学分館	<p>主に開架書架(電動書架を除く)に対し、以下を対策を講じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感震式書籍落下防止バー(上部1、2段目の棚) ・図書落下防止テープ(ほぼすべての棚) ・図書落下防止シート(一部の棚) ・マグネット付きブックエンド(一部の棚) ・フック付きゴムバンド(製本雑誌書架のみ。避難経路面の全棚および通路脇の各1連の全棚)
東北大学附属図書館北青葉山分館	<p>資料落下対策として、開架書架については書架上部(上3段)に落下防止テープやシートを設置している。また、利用頻度の少ない書架については落下防止ひもで対策を講じている。</p>
東北大学附属図書館工学分館	<p>現在、傾斜棚を導入しています。今後、落下防止バーを順次導入予定です。</p>
東北大学附属図書館農学分館	<p>当館(2017年移転)では、2021年2月に発生した福島県沖地震以降、書架資料は前を揃えず奥に押し込み落下防止バーを上げたままにしておく、滑り止め付きの大型ブックエンドを使用する、などの対策を実施してきたが、2022年3月の福島県沖地震ではそれらの効果は見られず、前回同様に大量の資料が落下した。</p> <p>当館の立地・構造上、今後もある程度の落下は防げないと思われるため、これまでの対策に加えて、利用者の頭上にあたる書架最上段には資料を配架しないこととし、全ての書架間通路に「地震がきたら本棚から逃げてください!」とのサインを設置した。書架からの資料落下を最小限とするため、今後も関係機関やメーカーと相談しながら対策を施していきたい。</p>

宮城教育大学 附属図書館	当館は平成20年度(2008)に全館改修を行った際、耐震補強も行っており、書架も上部に落下防止バーを設置した。東日本大震災、近年の福島県沖地震の際は、落下図書被害はあるものの、被害が小規模のため、特に地震対策を行っていない。
秋田大学附属図書館	秋田大学附属図書館では、振動を感知すると跳ね上がるタイプの落下防止バーを全書架の上2段に設置、また貴重図書を取める書架には傾斜スライド棚や扉付きの書架を利用、利用頻度の少ない書庫の書架には滑り防止テープを貼付している。2022年3月に発生した福島県沖地震では、落下防止バーが作動しなかった棚が多数あり、落下防止バー棚および通常棚から約250冊の資料が落下したが、傾斜スライド棚、扉付き書架、滑り防止テープ貼付の書架からの落下は0件であった。
秋田大学附属図書館 医学部分館	当館では地震対策につきまして書架上部への落下防止バーを設置しております。 導入を検討している対策につきましては特にございません。
山形大学 小白川図書館	従来から行っている連結式書架の設置、書架の壁面・床面固定のほか、当館でも一部の書架上部へは落下防止バーの設置を行っており、一定の効果は見られる。 しかし、地震の規模によっては十分とは言えず、落下防止バーの増設やチェーン・ひもの設置を検討しているが、予算の関係上なかなか進んでいないのが現状である。
山形大学 医学部図書館	1階学生用図書書架については、最上段にのみブックキーパーを設置している。また、2011年東日本大震災以降、2階外国雑誌書架については、上部転倒防止つなぎの金属を入れ対策をしている。
山形大学 工学部図書館	書架最上部への落下防止バーの一部設置及び書架最上部に本を置かない。
山形大学 農学部図書館	既に導入済の対策は以下のとおり。 (開架のみ) ・書架上部への感震式落下防止バーの設置。(一般図書は最上部のみ。事典類は上2段のみ。) ・滑り止めシートの設置。(感震式落下防止バーが付いていない書架下部の一部)
福島大学附属図書館	本学においても、地震による資料落下対策として落下防止バーを設置している。2021年2月と2022年3月の地震の際は、揺れの大きさや向きなどにより落下場所や落下冊数は異なるが、多数の資料が落下する被害が生じた。今後の地震に備えて、書架に紐やゴム紐をかけることや、資料をブックサポートで抑えるなどの対応を検討しており、一部試行的に実施している箇所もあるが、日常の利用にあたってストレスが少なく、効果的な対策がないものかと苦慮している。
青森公立大学図書館	書架各段にブックエンドを設置し、貸出による隙間がある場合は詰める作業を毎日閉館前に実施している。
青森県立保健大学 附属図書館	書架の上段の棚板に落下抑制テープを貼付していますが、効果は不明です。
岩手県立大学 メディアセンター	書架上部への落下防止装置の設置。書架の連結。書架を壁に固定。
宮城大学 学術情報センター	本学では、書架の中上段に図書落下防止用テープを貼り付けております。大和キャンパス(本館)においては、2021年2月・2022年3月の地震においても、図書の落下はほとんど見られませんでした。太白キャンパス図書館では、2022年3月の地震においては700冊ほど図書が落下し、上段よりも下段の図書の飛び出しが目立ちました。このことから、落下防止用テープの一定の効果があったものと考えられます。
秋田県立大学 附属図書館	東日本大震災以降、開架書架すべての棚板に資料落下防止ラインを設置した。閉架の集密書庫は、震災以前から書架の上段2段に落下防止バーを設置している。
秋田公立美術大学	本館では資料落下防止の対策が未実施のため、今後の検討課題となっております。
国際教養大学 中嶋記念図書館	本館は、半円状の形をした2階建ての構造をしており、2階部分の弧の形状をした開架書架には下1段目から9段目まで図書が配架されている。6段目より上の書棚は高さが2メートル以上になるため、地震対策として落下抑制のテープを書棚の前端に貼っている。
山形県立保健医療大学 附属図書館	現時点で当館において導入している地震対策と検討している対策はありません。

山形県公立大学法人 附属図書館	現段階で検討している対策はございません。
会津大学情報センター 附属図書館	開架書架の一部に落下防止用シートを設置しています。
会津大学短期大学 部附属図書館	毎年キハラの安全安心シートを、価格が高く全書棚分を一気に購入することはできないので、1年間で購入できるだけ購入して、順に少しずつ書棚に設置している状況である。
福島県立医科大学 附属学術情報センター	現在、資料落下防止のための対策は実施しておりません。 本学で行っているのは製本雑誌の棚上から2～3段に落下防止テープを貼っております。 貼らない棚よりは落下が少し少ないように思っております。 図書は配架の際、以前は背を棚ギリギリに合わせておりましたが、少しだけ奥にいらしております。
柴田学園大学 附属図書館	落下防止シート(キハラ製)を危険性のある場所に敷いています。ここ数年の地震において被害はみられません。
八戸学院図書館	書架本体の耐震対策しか行っていないのが現状であるが、2022年度から2026年度を目途に書籍の落下を防止するために、書籍落下防止シートの導入を予定しています。 今年度は地震の際、書籍の落下が激しい書架の上から1～2段目と、新書・文庫をメインに配架している書架に導入しました。
八戸工業大学図書館	書架の倒壊防止対策として書架同士を連結する、書架の最上段にできるだけ資料を配架しないようにする、といった対策を行っている。 また、書庫内を含む館内に、停電時に自動的に点灯する光源(LEDライト、懐中電灯としても利用できる)を複数個設置してある。
弘前学院大学 附属図書館	3Mの落下抑制テープを設置しています。
青森中央学院大学・ 青森中央短期大学 図書館情報センター	東日本大震災後に資料落下防止のため、落下防止用シートを書棚の一番上に設置しています。本学図書館では、設置後の地震で、書棚から図書は落ちていません。
岩手医科大学 附属図書館	矢巾図書館について2012年度に書架の防振バーによる天つなぎ、アンカーによる床固定を整備した。また、同年度から書架(高さ150cm以上)上部棚板の傾斜スライド棚への交換を段階的に整備している。東北地区大学図書館協議会誌72巻(15頁目)で報告のとおり、傾斜スライド棚を整備した書架は落下防止効果を発揮している。
富士大学図書館	落下防止テープを貼る。ブックエンドの間隔を狭めてこまめに設置する。配架する際に書架の下の方に配架する(重心を下に置く)。
盛岡大学図書館	今のところ検討していない。福島県沖地震(2021年2月、2022年3月)、東日本大震災(2011年)のいずれにおいても当館での被害は確認されなかった。
修紅短期大学図書館	何度かの大きな地震を経験し、図書館内で崩れが酷い所と軽い所が有ることが分かり、その場所によって何故崩れやすいのか、崩れにくいのかを検討した。 建物の構造や図書館の位置自体の影響もあるが、そもそも書架の設置に甘さがあることが分かり、先ず直ぐに出来る対策として、移動できる書架は移動し(レイアウト変更)、導入としては固定を強くする、天ツナギを行うことを検討している。
仙台大学附属図書館	落下防止装置(Book Keeper2)を導入設置している
仙台白百合女子大学 図書館	市販のPPバンドを各本棚の下から約5cmの所へ張り巡らせている。見た目や利便性は良くないが、軽度の地震による書籍落下は、少数に減ったと感じる。
石巻専修大学図書館	落下防止バーを本棚上段に設置

<p>東北学院大学図書館 (中央図書館)</p>	<p>閉架書庫において、本学では、書架上部への落下防止バーを設置しております。 また、傾斜スライド棚の導入については2023年開学の東北学院大学五橋キャンパス図書館の開架棚にはその機能付きの書架の導入を予定しております。 2011年の東日本大震災時には落下防止バー未設置でありましたために、甚大な被害(書籍の落下が殆どの状況)でありましたが、それを機に落下防止バーの設置を年度予算に計上しすべての閉架書庫内で設置が段階的に進みました。2021年2月、2022年3月に発生した福島県沖地震において、書架上部への落下防止バーの設置していることから、書架上部への落下書籍はなかったものの未設置下部の棚からの書籍の落下はありました。3階から4階の複層書庫の上の階に行くほど落下は多くなる傾向でありました。また、落下防止バーの設置があったことにより、書架の重量バランスにおいて書籍の荷重が上層にあったため、書架を固定しているアンカー・ボルトの損壊、上部書架段の若干のゆがみが見られました。そのために書架そのもののゆがみ修繕が必要となりました。その歪み防止の改善策として書架の背面に住宅建設で使われている「筋がい」の追加取り付けを行ないました。これを取り付けたことによって書架への影響が軽減されたようです。</p>
<p>東北工業大学 附属図書館</p>	<p>資料落下対策は、建築構造を専門とする教員より「(資料を落下させない場合)地震による重量の負荷が書架・建物に一拳に加わり、大規模な倒壊・損壊に繋がる。資料を落下させた方が安全」との指摘があり、「利用者が安全に避難できるよう、資料の落下を遅延させる」ことを基本方針としています。 東日本大震災以降から昨年度までキハラ社製の安全安心シートを活用していましたが、資料の出し入れが非常に難しく、落下後の復旧にも差し障るため廃止しました。現在は、棚板の角度変更、滑り止めテープ等の導入を検討しています。</p>
<p>東北福祉大学図書館</p>	<p>特になし</p>
<p>東北文化学園大学 総合情報センター 図書館</p>	<p>近年の地震による資料落下は、100～200冊程で、大きな被害は発生しませんでした。 書棚を固定する、本が飛び出さないようブックエンドで固定するなどの基本的な対策は実施しておりますが、傾斜スライド棚板や書籍落下防止装置(バー)の設置といったような特別な対策はとっておりません。</p>
<p>東北医科薬科大学 附属図書館</p>	<p>本学医学分館では、床面150cm以上の棚に落下防止バーを設置していたが、空きのある棚では、倒れた資料が落下した。 ストッパーシート等の製品情報は入手しているが、平常時の利用にも影響するため、導入を検討するには至っていない。</p>
<p>宮城学院女子大学 図書館</p>	<p>事例がなく、ぜひ他大学の事例をご教示いただきたいです</p>
<p>尚絅学院大学図書館</p>	<p>資料落下などの被害がありましたが、それ以後の特別な対策はとっていません。</p>
<p>聖和学園短期大学 図書館</p>	<p>L字のモールを書架の棚ごとに付け、本の落下防止の対策をしている。</p>
<p>仙台青葉学院 短期大学図書館</p>	<p>上部の棚には「図書落下防止テープ」を貼っています。3月の地震でも、ある程度の効果はありました。(滑りが悪くなるため蔵書点検がしにくくなるというデメリットもあり、全ての棚には使用しておりません)</p>
<p>東北生活文化大学・ 東北生活文化大学短期大学部 附属図書館</p>	<p>落下被害が多かった2階雑誌コーナーを中心に、書棚に滑り止めシートを敷いている。また、2階大判図書や保存資料の書架には落下防止ゴムバンドを設置していく予定である。</p>
<p>ノースアジア大学 附属図書館</p>	<p>本学では、開架書架の一番上の棚板に図書を置かないようにするなどの対策を行っている。</p>
<p>東北芸術工科大学</p>	<p>2011年の東日本大震災をきっかけに(多数の書籍が落下。復旧に数日を要したと聞いている。)書架の高段に落下防止シート(キハラ 安全安心シート)を設置した。 2021年に書架スペースの増設に伴い、同製品を設置した。 ある程度の効果はあり、大きな事故はその後ない。 新しい装置や設備を導入することは現在のところ計画にはなく、資料の除籍と廃棄などによって館内整備を行うことで、危険な箇所をなるべく作らない方向で対策を行っていきたいと考えている。</p>
<p>羽陽学園短期大学 附属図書館</p>	<p>対策はしていません。</p>

東北文教大学・ 東北文教大学短期大学部 附属図書館	当館の書架は、床固定・壁面固定されており、これまでの地震の被害は 図書の落下が数十冊程度と最小限にとどまっています。
東北公益文科大学 図書館	姉妹館の致道ライブラリー(鶴岡市)では、2019年の山形沖地震で図書の落 下を経験したこともあり、大型図書を書架下段に移動する対応を取った。本館 (酒田市)でも検討はしているが費用面や蔵書点検の妨げになる等課題があ るため、実施には至っていない。
医療創生大学図書館	311当時の対応として、一部書架の最上段部に滑り止めテープを貼付け、現 在まで維持。 今後の追加対応については未定。
奥羽大学図書館	2021年2月の福島県沖地震後に、予算の関係で一部の書架に市販の滑り止 めのシートを貼ったところ、2022年3月の地震では落下軽減の効果がみら れたので今年度は貼る箇所を増やして対策をしている。
郡山女子大学図書館	令和3年2月、令和4年3月の福島県沖地震の際に資料落下被害が大き かった書架へ、ひもをかけ、棚板へ落下抑制テープを貼付し、落下防止対策を しています。
東日本国際大学・ いわき短期大学 昌平図書館	効果的な対策を見つけることが出来ず、苦慮しています。
日本大学図書館 工学部分館	一部の書架に対して、紐等を張る対策を講じています。
桜の聖母短期大学 図書館情報センター	2021年2月の地震の後に、落下防止シート、落下防止のテープを各書架の一 番上の棚に設置し、対策をたてた。(予算の都合で部分的に実施した。) しかし、2022年3月の福島県沖地震においては、殆ど落下し、あまり効果が みられなかった。(想定を超える地震が多発していると考えられる。)
福島学院大学図書館 情報センター	東日本大震災以降、度重なる地震が続いており、本学も悩みが尽きないところ です。新たに落下防止テープの貼付(やや効果あり)、書架の固定工事、また 書架上部に(1~2段)に図書配架をせず下部に配架することによって安定を 保つ、などに取り組んでおります。

承合事項2:冊子体の雑誌の保存・廃棄基準について(提案館:東北大学附属図書館)

提案理由	<p>学術雑誌の電子化やオープンアクセスの推進等の社会環境の変化により、冊子体の雑誌の購読数の減少や利用頻度の低下といった状況がみられるかと思われる。</p> <p>については、上記の変化や保存スペースの狭隘化、地震対策の観点などから、冊子体の雑誌(製本雑誌を含む)の物量を、より減らしていけるように、保存や廃棄のルールを変更した、または検討している事例があれば、ご教示いただきたい。</p>
弘前大学附属図書館	<p>弘前大学附属図書館資料取扱要項(平成16年4月1日～実施:以下、「取扱要項」という)に基づき、判断している。特に、資料の保管スペース確保の観点から考えた場合、取扱要項第6条(2)「データベース及びマイクロ資料など、新たな媒体が利用できる資料」に該当する場合に処分を可能としていることから、おおむね以下のとおり運用している。</p> <p>①バックファイルで利用が可能な購入雑誌 バックファイルを購入するなどして、永続的アクセスが保証されるものについては冊子体の処分が可能なものと判断し、定期的に置き換えが可能なものを調査・抽出し、処分を行っている。このため、バックファイル購入時も、書庫の所蔵と置き換えが可能なものを優先的に選択するようにしている。 なお、代替手段が確保できないものについては基本的に処分をしていない。また解約後にアクセス権が残るパッケージ製品の購読誌についても、現時点で処分はしていない。</p> <p>②学術機関リポジトリが利用可能な他大学からの寄贈雑誌 大学紀要など、他機関の学術機関リポジトリで利用可能なものについては、冊子体での寄贈を辞退し、発行元へ送付停止の依頼をしている。利用者向けにはリポジトリのURLをOPACのローカルIDNETに入れてアクセス手段を確保している。また、学術機関リポジトリに遡及して登録されている紀要がある場合にも、電子版を利用することを前提として、本学の所蔵と重複している分は処分している。</p>
岩手大学図書館	<p>国立国会図書館デジタルコレクション、J-STAGE、機関リポジトリなどでオープンアクセスになっているものについては、除却基準の一つ「その他図書館長が除却を適当と認めたもの」を適用し、製本雑誌も含め廃棄している。</p>
東北大学附属図書館(本館)	<p>・既存の内規について、電子資料等利用の観点、学内重複資料の扱いの再検討等を含め、学内の状況を踏まえながら保存・廃棄ルールを見直していく予定である。</p> <p>・本館の場合、新規受入資料は電子化・オープンアクセスの有無を確認し、既にオンライン等でアクセスが可能な場合は、原則として冊子の受入を控えている。</p>
東北大学附属図書館 医学分館	<p>検討していない</p>
東北大学附属図書館 北青葉山分館	<p>本学の不用決定に関する処理要領に基づき、電子化されている雑誌を中心に廃棄検討を行っている。</p>
東北大学附属図書館 工学分館	<p>保存や廃棄のルール変更・検討はしておりません。</p>
東北大学附属図書館 農学分館	<p>当館ではルール変更の検討は行っていない。</p>
宮城教育大学 附属図書館	<p>当館では、書架の狭隘化のため、冊子体雑誌について以下の取扱いとしている。</p> <p>・)製本雑誌の2冊目以上は複本として不用決定 ・製本された逐次刊行物のうち、他大学の紀要は冊数にかかわらず不用決定可。また、未製本の逐次刊行物のうち、保存期間の過ぎたものは廃棄可。</p> <p>また、研究室資料の返本が急増していることから、上記に加え以下の取扱いとしている。</p> <p>・購入予算を問わず、図書館では原則として未製本雑誌は引き取らない。 ・図書館での未製本雑誌の保管を希望する場合は、購入者は事前に保管の必要性、利用頻度、他大学での所蔵状況を確認し十分検討のうえ、図書館と調整を行う。また事前に研究室負担で製本行う。</p>

秋田大学附属図書館	製本・未製本雑誌に共通して重複資料、電子ジャーナルとして利用可能かつ出版社又は公共機関においてアーカイブが保障された資料を廃棄候補として選定している。 また未製本雑誌については、平成29年に下記に該当する資料を廃棄できることとした。 ・総合誌や文芸誌など一般誌(分野ごとに保存期間を1年～5年に設定している)。 ・所蔵範囲年が2年分以下、又は欠号が3分の2以上の資料。 ・発行後5年以上経過し、文献複写サービス等で入手が可能な資料。
秋田大学附属図書館 医学部分館	オープンアクセス化されている冊子体雑誌については、現物と照合の上廃棄としておりますが、今年度より学術情報リポジトリに公開されている紀要類について、現物と照合の上廃棄する基準を新たに設け、順次廃棄をおこなっております。
山形大学 小白川図書館	製本雑誌は、資産として従来どおり規程に即して除却処分している。 未製本雑誌は、規程等で定めているものはなく、運用上複本は処分しているが、研究室からの返却雑誌等による書庫の狭隘化に苦慮している。 電子ジャーナルの契約・オープンアクセス等で恒久的に利用可能であれば、冊子を保存しないという判断もできるが、ジャーナルの契約が継続できるかどうか不明なため、判断が難しい。
山形大学 医学部図書館	保存や廃棄のルールを大幅に変更したわけではないが、電子版で閲覧可能なタイトルや製本雑誌でも論文未掲載の業績集や年報等の資料については適宜廃棄している。
山形大学 工学部図書館	現在、特に検討していないが、一般雑誌については、処分内容を検討する必要があると考えている。
山形大学 農学部図書館	<p>■雑誌の除籍方針は以下のとおり。</p> <p>①電子ジャーナルで購入中または無料公開されているもの。 ②索引誌、抄録誌、年報、年刊統計等で、ウェブ上のサービスにより代替できるもの。 ③2冊以上所蔵がある場合の2冊目以降。 ④受入中止後30年以上経過したもの。(終廃刊・誌名変更・統計類・報告書類・山形県内刊行誌を除く)</p> <p>■新規受入の場合は、オープンアクセス誌の場合でも、内容により、以下のとおり異なる対応をしている。</p> <p>①受入中止。 ②受入せず配架、次号配架時に廃棄。 ③受入し、一定期間利用後に廃棄。(1冊ずつのデータは登録せず、所蔵巻号のみ登録。) ④受入し、保存。(コア・ジャーナル、県内資料、学内関係資料等の一部。) ※④について、保存の重要性も感じているが、スペースの問題もあるため、将来的には廃棄の検討も必要になってくると思われ、その選定に苦慮している。</p> <p>■雑誌製本の予算の確保が難しくなっており、今年度から半数程度製本を中止した。未製本となった雑誌の対応については、今後検討していく。(そのまま保存、紐綴じ、一定期間経過後廃棄等)</p>
福島大学附属図書館	除籍の基準については、当館管理要項第9条及び第9条申し合せにより定めており、機関リポジトリで公開されている大学紀要の廃棄を想定して、令和元年度改正の際に、申し合わせ(5)の具体的な事例として追加した。 また、大学紀要については、受入時点からリポジトリの公開状況に応じて中止処理を行い、書誌データのローカルフィールドに公開URLと参照日を記述することとしている。 なお、オープンアクセス誌や電子ジャーナルが存在する購読雑誌については、現時点では廃棄を予定していない。※別途メールにて管理要項・申し合わせをお送りします
青森公立大学図書館	寄贈受入している紀要については、1冊全てweb公開になっているものは順次廃棄(受入辞退)を行っている。寄贈受入している紀要以外の雑誌は、一定期間雑誌コーナーに配架後、web公開されているものは廃棄とし、保存は行っていない。
青森県立保健大学 附属図書館	当館でも検討予定ですが、まだ着手していない状態です。

岩手県立大学 メディアセンター	当館では、狭隘化対策として、平成27年度に雑誌の保存期間の基準を定めて運用している。 保存期間が過ぎた雑誌は、移管・譲渡先を調査し、最終的に残った資料を廃棄処分している。
宮城大学 学術情報センター	本学では、大和キャンパス図書館では冊子体の雑誌の廃棄は行っておりません。太白キャンパス図書館においては、狭隘化が進んでいることから、学術雑誌・専門誌を除く一部の一般誌については、教員の要望に応じて1～5年の間でそれぞれ保存年限を決めて廃棄を行っております。
秋田県立大学 附属図書館	冊子体の雑誌は、現在の本学規程に則り保存・廃棄しており、ルールの変更はしていない。
秋田公立美術大学	現状、保存や廃棄のルール変更は検討しておりません。
国際教養大学 中嶋記念図書館	本館では、保存スペースの狭隘化から2019年度に収集方針について見直しを行い、新たに作成した「蔵書の維持管理及び除架のガイドライン」を元に、冊子体の定期刊行物については以下のとおり保存または廃棄するルールに変更した。 ・学術雑誌は、オンラインで利用可能なものを除き、製本し、永年保存とする。(オンラインで利用可能な学術雑誌は5年間保存する。) ・一般雑誌は3年保存とする。 なお、保存期間が過ぎた古い資料は、有効活用を図るため利用者に一定期間無償で譲渡し、残ったものを廃棄している。
山形県立保健医療大学 附属図書館	当館においても保存スペースの狭隘化は課題ではあるものの、雑誌の物量を減らすために保存や破棄のルールの変更や検討は現時点では行っておりません。
山形県公立大学法人 附属図書館	現段階で検討している対策はございません。
会津大学情報センター 附属図書館	冊子体の雑誌については、保存年限等明文化されたルールはございません。図書管理規則に準じて保存の必要がないと認められた雑誌については、図書委員会に報告した上で処分(希望者への譲渡、廃棄)しています。
会津大学短期大学 部附属図書館	・本館で購入している雑誌については、永久保存予定のものと、1年間保存のものがある。 ・1年間保存の購入雑誌(非資産化分)に関しては1年間保存した後、年末にまとめ、本館の所蔵資料からは外し、希望する学生・教員に配布している。 ・永久保存予定の購入雑誌に関しては、雑誌独自の廃棄基準はないが、「会津大学短期大学部附属図書館除籍要領」は本館の資産化された図書館資料全てを対象にしており、そちらに基づき、他の資料同様、資料が古く学習・研究の役に立たなくなったと考えられる場合には、除籍候補リストに加えていくということは今後あり得る。しかしながら、今回の提案理由にあった「資料の電子化」を理由に挙げるには、(オープンアクセス化されて無料で自由に見れるものはまた別として)バックナンバーまで閲覧できる電子ジャーナルの恒常的な購読ができることがまず大前提であり、本館ではそれが難しいので、その理由での廃棄は今のところ考えていない。 ・各大学から送付されてきた紀要等(非資産分)に関しては、本館の狭隘化の問題から、保存は10年間とすることが2015年5月の委員会で決定されていて、そのように対応している。今後はリポジトリで閲覧できるものについて、館内の書棚状況等を見ながら、必要に応じて対応していきたい。
福島県立医科大学 附属学術情報センター	保存スペースの狭隘化により電子により閲覧することができており、かつ利用が少ない主に和雑誌を除籍・廃棄候補とし、「保存の必要がないと認められた図書」として除籍・廃棄を行っております。
柴田学園大学 附属図書館	現在のところ、保存や廃棄についてのルール変更などは考えていません。ただ、このような問題はのちに生じると考えられるので、他館の状況を参考にさせていただければと思います。
八戸学院図書館	冊子体の雑誌の保存・廃棄については、2013年度に雑誌・新聞資料の処分に関する内規を作成し、それに従い保存と廃棄を行っております。 保存期間は「雑誌-10年、教職関係-3年、情報関係-1年、新聞-3年、郷土関係-永年」とし、その期間を過ぎた雑誌は委員会の議を経て処分しています。 また、他大学・研究機関等の紀要等のその機関においてアーカイブが保障されたものや、図書館購入と研究費購入等で重複した雑誌等については保存期間外でも処分をしています。

八戸工業大学図書館	冊子媒体での購入は行っておらず、全て電子ジャーナルやオープンアクセスの利用、他館への複写依頼等で対応している。 過去に購入していた学術雑誌は製本して保管(保管期限は無期限)してあるが、物理容量が増えていないこともあり保管・廃棄ルールの変更は特に検討していない。
弘前学院大学 附属図書館	オープンアクセス化されている雑誌は5年間保存後、廃棄しています。
青森中央学院大学・ 青森中央短期大学 図書館情報センター	雑誌の廃棄基準があり、基準に沿って廃棄作業を行っていますが、年々書棚の空きがなくなってきています。保存スペースの狭隘化、地震対策の観点などから、ルールの変更は行っていません。
岩手医科大学 附属図書館	電子化された外国雑誌について除籍を進める予定だったが、電子ジャーナルの品質に関わる不備(※)が見つかったため、現時点では様子見として、保存スペースがある限りは冊子体を保管し続けている。 ※電子ジャーナルの品質に関わる不備:書誌事項と文献との不一致、文献が不鮮明で読めない等(提供元からは可能な限り対応するとは言われているが、提供元・出版元でも冊子体を廃棄していれば入手不可となってしまふことを危惧している)
富士大学図書館	新聞・雑誌の保存年数を設定していないので、設定を検討中である。紀要のタイトル数の縮小のため、リポジトリ掲載の紀要や経済学部以外の紀要の受入を見直したい。
盛岡大学図書館	書庫の狭隘化を鑑み、紀要についてオープンアクセスのものについては、冊子体資料の新規受入を行わず、すでに受入済の冊子体資料についてもオープンアクセスとなっている分については廃棄する方針でルールの作成を検討中。
修紅短期大学図書館	本学でも雑誌の狭隘は進んでおり、3年ほど前に各学科に協議し、保存や廃棄についてルールを決めた。 今のところ学術系の雑誌は永年保存、一般雑誌については特徴に応じて年数を決め、廃棄の手続きを行い、リサイクル資料として呼びかけ希望者に提供している。 また、基本的に永年保存であっても経年劣化の酷い雑誌、学科の変更などで利用が見込まれなくなった雑誌については委員会と協議し、検討している。
仙台大学附属図書館	保存や廃棄のルールの変更はしていないが、製本する雑誌を減らす、雑誌の購読を中止するなどしている。
仙台白百合女子大学 図書館	Web等により電子化されている雑誌は、保管スペースの都合上廃棄を進めている。
石巻専修大学図書館	特になし
東北学院大学図書館 (中央図書館)	2023年4月に東北学院大学五橋キャンパスが開学することにより、既存の多賀城キャンパスは閉鎖、泉キャンパスは一部利用が決定しています。 それに伴い多賀城キャンパス内の多賀城キャンパス図書館の資料は五橋キャンパス図書館・土樋キャンパス図書館・泉キャンパス図書館に移設することになりました。 しかしながら配架書架スペースに限りのある五橋キャンパス図書館と従前より配架スペースの狭隘化が問題となっている土樋キャンパス中央図書館に多賀城キャンパス図書館の全資料を移設することは不可能であることから、冊子体の保存ルールを見直すことを検討しています。幸い泉キャンパス図書館が保存図書館として存続するので、当面は保存が可能です。なお、学校法人会計上、資産となる図書については、保存ルールを検討したのち除却規程を制定し、除却手続きの明文化を行いました。
東北工業大学 附属図書館	オープンアクセスの増加に伴い除籍基準の対象資料として以下を2017年度に追加しました。 ・Webで一般公開されている図書(紀要・統計・報告書等) その他の雑誌については、購読を停止し一定期間(5年)が経過したタイトルから、利用状況を考慮した上で除籍可否を検討しています。
東北福祉大学図書館	(1)除籍・廃棄に関するマニュアルの見直しを行い、本学の専攻分野の専任教員が退職した場合、それらの資料の保存及び収集の継続の有無を検討するとともに、保存の必要がないと判断した場合、除籍・廃棄処分することとした。 (2)寄贈の紀要類に関して、本学の専攻分野とは異なる分野で、かつリポジトリの利用ができるものは、積極的な収集を行わないこととした。また、収集を断念した紀要は、すでに所蔵している巻号数においても、リポジトリの状況等を見ながら廃棄処理にするかの検討を同時に行っている。

東北文化学園大学 総合情報センター 図書館	約8年前に、雑誌の種類(学術雑誌、一般週刊誌等)ごとに保存期限を決め、管理しております。
東北医科薬科大学 附属図書館	保存スペースの狭隘化は本学でも課題となっているが、現時点で保存や廃棄のルールの変更を検討するには至っていない。
宮城学院女子大学 図書館	事例がなく、ぜひ他大学の事例をご教示いただきたいです
尚絅学院大学図書館	設けていません。ただし冊子体の契約更新検討時に、冊子体より電子ジャーナルが価格的に優位な場合には、積極的に電子ジャーナルへの切り替えの方向で検討しています。
聖和学園短期大学 図書館	新たな基準作りに取り組んでいるが、是非他館の実状なども参考に検討していきたい。
仙台青葉学院 短期大学図書館	メディカルオンライン等の論文検索サイトで内容を閲覧できる雑誌は、教員の承認を得てから除籍する方向になっています。
東北生活文化大学・ 東北生活文化大学短期大学部 附属図書館	図書館の保存・廃棄基準について、特に明文化されたものはない。そのため、廃棄については図書館スタッフが廃棄候補として挙げた雑誌について、各分野の教員の意見などを参考にしながら総合的に判断し、対処している。近年、学部・専攻の新設などがあったために雑誌のラインナップも変化していることに加えて、雑誌の保管容量も限界に近づいていることから、当館でも他館の状況等を参考としながら早急に基準を設定していきたい。
ノースアジア大学 附属図書館	本学では、定期的にデータベース上やオープンアクセス等で確認できる学術雑誌であるかを精査し、確認できる場合は定期購入の契約中止や現物の廃棄などを行っている。
東北芸術工科大学	紛失や汚損に関する廃棄基準はあるが、それ以外の明確な基準は設けておらず、近年は館内改修工事のタイミングや、書架の状況を考慮しながら、大規模な廃棄を数年ごとに何度か行ってきた。 昨年度は、各機関のリポトリの利便性が高まったことを受けて、紀要等学術雑誌の大規模な除籍を行った。今後もこの分野については、デジタル資料に依存することになるだろう。 その他の一般雑誌については、利用状況からまだある程度の冊子体への需要はあると見ており、現在のところ構成を左右するような変更は検討していない。(減らすことがあるとすれば、誌価の高騰など別の要因になるかと思われる。) ただ、どの程度の頻度や分量で廃棄を行うのが望ましいのかについては、把握の必要を感じている。今後は調査や統計を取りながら、規則化、ルーティンワーク化を視野に入れて一定の基準を策定できればと考えている。
羽陽学園短期大学 附属図書館	学術雑誌は備品となっており簡単に除籍はできません。書架の狭隘化は深刻な問題となっているものの、現時点では特に変更しておりません。
東北文教大学・ 東北文教大学短期大学部 附属図書館	現時点では未定です。
東北公益文科大学 図書館	電子化された図書や雑誌を増やしていく方向で議論しているが、具体的に冊子体を減らすところまでは議論が進んでいない。
医療創生大学図書館	現状、特にルール変更は無し。当館の既存の規程に則り、所蔵年数を過ぎた情報誌(非資産として定めたタイトルに限る)を除籍することで対応中。
奥羽大学図書館	冊子体雑誌は今のところ廃棄の事例がありません。
郡山女子大学図書館	現時点では特にございません。
東日本国際大学・ いわき短期大学 昌平図書館	保存スペースの狭隘化など課題は多々ありますが、ルールの変更等はありません。
日本大学図書館 工学部分館	特に取扱いを定めていません。
桜の聖母短期大学 図書館情報センター	本学も、学術雑誌の製本を行っているが保存スペースが年々少なくなり対策が必要となってきた。国会図書館のデジタルコレクションを確認し、今後は、学内の選書委員会で会議を持ち製本作業をやめる方向ですすめることを検討している。
福島学院大学図書館 情報センター	検討中ですが、製本雑誌については保存箱を利用し保管しています。

第 77 回東北地区大学図書館協議会総会議事メモ

開催日 令和 4 年 9 月 2 1 日(水)～9 月 2 7 日(火) (メール会議)

当番館 岩手医科大学附属図書館

議 事

1. 報告事項

- (1) 令和 3 年度活動報告
- (2) 令和 3 年度一般報告
- (3) 令和 3 年度研修部会活動報告
- (4) 第 8 0 回記念事業(案)の募集

事務局から、上記について資料 1～4 の報告があった。

2. 協議事項

- (1) 令和 3 年度決算報告
- (2) 令和 3 年度記念事業基金決算報告
- (3) 令和 3 年度会計監査報告

事務局から、上記(1)～(3)について資料 5～7 の報告があり、それぞれ原案のとおり承認された。

- (4) 令和 4 年度事業計画
- (5) 令和 4 年度予算及び記念事業基金予算について

事務局から、上記(4)～(5)について資料 8～9 の提案があり、それぞれ原案のとおり承認された。

- (6) 第 7 8 回総会の当番地区 (館)

資料 1 0 に基づき次回当番地区は福島地区であり、会場大学は日本大学図書館工学部分館とすることで承認された。

3. 承合事項

提案の主旨については、資料 1 1～1 2 の各提案館からの提案理由のとおりであり、特に意見等はなかった。

図書館統計年報

(1) 建物・蔵書状況

(令和4年3月31日現在)

図書館名	建物 延面積 (㎡)	蔵書冊数			2021 (令和3) 年度増加冊数		
		和書 (冊)	洋書 (冊)	計 (冊)	和書 (冊)	洋書 (冊)	計 (冊)
弘前大学	7,700	608,009	224,857	832,866	739	1,039	1,778
岩手大学	9,088	698,231	198,559	896,790	6,029	454	6,483
東北大学(本館)	18,215	1,687,799	1,182,587	2,870,386	13,153	1,961	15,114
同 医学分館	4,476	160,168	236,853	397,021	201	-72	129
同 北青葉山分館	3,356	95,925	307,082	403,007	634	-1,202	-568
同 工学分館	5,365	182,572	183,239	365,811	2,359	1,420	3,779
同 農学分館	5,732	94,974	63,141	158,115	877	413	1,290
宮城教育大学	2,857	335,534	51,130	386,664	4,458	134	4,592
秋田大学	4,604	321,034	114,349	435,383	3,183	472	3,655
同 医学部分館	1,717	56,487	56,700	113,187	697	51	748
山形大学中央図書館	7,626	540,534	185,070	725,604	1,373	142	1,515
同 医学部図書館	1,195	37,651	55,904	93,555	189	6	195
同 工学部図書館	3,259	116,696	58,262	174,958	562	26	588
同 農学部図書館	969	86,014	17,347	103,361	810	24	834
福島大学	10,084	727,998	237,052	965,050	5,959	431	6,390
青森公立大学	3,337	148,620	45,774	194,394	2,762	22	2,784
青森県立保健大学	1,850	102,751	24,442	127,193	2,018	12	2,030
岩手県立大学	6,828	281,320	70,345	351,665	6,757	355	7,112
宮城大学大和キャンパス	2,193	112,802	17,812	130,614	1,083	257	1,340
同 太白キャンパス	943	63,474	7,508	70,982	344	206	550
秋田県立大学	4,769	248,331	59,706	308,037	5,714	1,223	6,937
秋田公立美術大学	1,194	47,462	9,034	56,496	1,004	53	1,057
国際教養大学	1,831	31,827	52,567	84,394	769	391	1,160
山形県立保健医療大学	903	65,379	6,904	72,283	1,222	10	1,232
山形県立大学	984	114,314	9,698	124,012	539	50	589
会津大学	2,446	62,143	67,833	129,976	690	-850	-160
会津大学短期大学部	443	72,074	8,846	80,920	979	18	997
福島県立医科大学	4,194	144,380	94,541	238,921	3,494	649	4,143
柴田学園大学	559	41,536	4,916	46,452	259	7	266
八戸学院大学	1,636	159,440	12,818	172,258	99,613	9,712	109,325
八戸工業大学	1,853	104,216	26,802	131,018	580	-	580
弘前学院大学	1,280	93,054	19,746	112,800	993	136	1,129
青森中央学院大学・同短期大学	2,137	95,103	5,508	100,611	1,565	56	1,621
岩手医科大学	5,054	160,307	136,959	297,266	1,265	265	1,530
富士大学	1,225	175,992	31,056	207,048	973	7	980
盛岡大学図書館	2,081	165,981	22,214	188,195	2,353	52	2,405
修紅短期大学	205	16,694	230	16,924	324	-	324
仙台大学	1,120	128,365	18,264	146,629	2,592	95	2,687
仙台白百合女子大学	1,446	90,746	10,417	101,163	335	98	433
石巻専修大学	3,496	122,433	63,597	186,030	859	146	1,005
東北学院大学(中央)	7,602	473,415	294,814	768,229	2,455	896	3,351
同 工学分館	2,899	95,207	43,144	138,351	1,395	42	1,437
同 泉分館	6,100	238,882	113,464	352,346	2,822	724	3,546
東北工業大学	2,977	191,351	56,178	247,529	3,305	249	3,554
東北福祉大学	4,696	338,317	71,557	409,874	1,273	-1,160	113
東北文化学園大学	1,744	123,914	15,961	139,875	2,729	24	2,753
東北医科薬科大学	1,902	67,349	42,073	109,422	990	16	1,006
東北医科薬科大学医学分館	589	12,097	494	12,591	1,323	18	1,341
宮城学院女子大学	3,216	302,472	105,863	408,335	2,418	186	2,604
尚絅学院大学	2,337	149,416	26,899	176,315	1,850	210	2,060
聖和学園短期大学図書館	427	59,173	1,308	60,481	494	24	518
仙台青葉学院短期大学	356	31,350	2,019	33,369	-85	2	-83
東北生活文化大学・同短期大学部	660	66,757	5,516	72,273	102	4	106
ノースアジア大学	1,689	182,041	20,474	202,515	833	15	848
東北芸術工科大学	1,795	141,754	16,422	158,176	1,848	160	2,008
羽陽学園短期大学	705	65,382	2,453	67,835	1,001	2	1,003
東北文教大学・同短期大学部	1,533	119,634	8,511	128,145	693	5	698
東北公益文科大学	1,517	104,879	12,481	117,360	1,428	264	1,692
医療創生大学	4,860	217,295	60,028	277,323	445	110	555
奥羽大学	2,635	149,783	94,617	244,400	479	11	490
郡山女子大学	1,651	118,997	13,554	132,551	720	-	720
東日本国際大学・いわき短期大学	1,221	78,541	10,679	89,220	1,167	2	1,169
日本大学工学部分館	5,006	203,135	117,257	320,392	671	69	740
桜の聖母短期大学	642	53,863	9,605	63,468	674	38	712
福島学院大学	1,990	85,236	6,139	91,375	2,323	69	2,392

(2) 利用状況

(令和3年度分)

図書館名	対象 学生数 (人)	学生：館外貸出		対象 教職員数 (人)	教職員：館外貸出		文献複写		
		(人)	(冊)		(人)	(冊)	学内分 (件)	学外分 (件)	計 (件)
弘前大学	6,912	26,141	45,041	2,023	3,318	6,559	174	969	1,143
岩手大学	5,405	11,644	23,292	719	1,373	2,725	1,271	894	2,165
東北大学(本館)	18,083	60,673	118,307	10,391	9,055	21,878	3,324	3,159	6,483
同 医学分館	2,910	5,174	8,688	4,750	1,557	3,100	1,238	4,237	5,475
同 北青葉山分館	2,886	9,337	14,955	899	1,315	2,282	116	563	679
同 工学分館	6,498	15,522	28,008	2,660	1,655	3,556	163	936	1,099
同 農学分館	1,003	2,690	4,595	190	992	1,996	143	268	411
宮城教育大学	1,557	8,172	17,801	475	1,397	4,281	90	420	510
秋田大学	5,208	6,194	14,526	2,597	913	2,239	510	213	723
同 医学部分館	1,436	878	1,823	1,692	248	579	735	1,521	2,256
山形大学中央図書館	4,194	15,881	17,975	709	1,894	2,195	227	586	813
同 医学部図書館	958	1,489	2,502	1,933	232	439	52	1,693	1,745
同 工学部図書館	3,543	2,955	6,188	420	177	532	33	142	175
同 農学部図書館	637	886	1,796	135	151	261	12	56	68
福島大学	4,338	11,461	23,247	761	1,476	4,523	5,389	985	6,374
青森公立大学	1,292	2,968	5,950	159	463	1,068	42	34	76
青森県立保健大学	969	5,698	13,886	438	681	1,927	902	303	1,205
岩手県立健大	2,371	8,504	17,129	538	1,349	3,283	949	91	1,040
宮城大学大和キャンパス	1,318	2,771	6,103	327	522	1,431	752	424	1,176
同 太白キャンパス	578	1,014	2,378	102	131	357	198	68	266
秋田県立大学	1,884	-	24,954	454	-	3,218	590	294	884
秋田公立美術大学	466	2,210	4,334	120	371	710	48	16	64
国際教養大学	956	345	3,772	203	46	727	44	-	44
山形県立保健医療大学	461	1,366	2,703	82	642	1,131	379	274	653
山形県立大	700	3,151	6,253	145	376	1,131	715	99	814
会津大学	1,301	4,810	10,087	244	499	1,058	7	113	120
会津大学短期大学部	293	2,018	5,994	183	518	4,035	134	45	179
福島県立医科大学	1,772	4,517	9,160	3,829	1,405	3,630	1,609	1,733	3,342
柴田学園大学	318	653	1,192	85	187	580	2,912	-	2,912
八戸学院大学	993	1,421	2,703	162	701	2,169	186	67	253
八戸工業大学	1,159	115	642	216	26	202	46	6	52
弘前学院大学	755	1,059	2,007	170	169	646	198	-	198
青森中央学院大学・同短期大学	1,393	505	3,459	295	74	824	12	254	266
岩手医科大学	1,975	1,864	3,415	4,470	1,657	3,534	263	1,713	1,976
富士大学	814	575	938	155	133	533	97	251	348
盛岡大学図書館	1,903	3,461	8,518	287	464	1,407	1,044	94	1,138
修紅短期大学	124	558	955	47	140	858	18	-	18
仙台大学	2,664	431	881	119	74	290	2	23	25
仙台白百合女子大学	946	1,098	2,335	95	199	519	1,824	24	1,848
石巻専修大学	1,405	784	1,707	218	158	798	67	143	210
東北学院大学(中央)	11,200	5,007	9,762	1,170	1,179	2,601	2,521	544	3,065
同 工学分館	11,200	1,119	2,181	1,170	176	369	1,728	107	1,835
同 泉分館	11,200	7,413	14,443	1,170	1,463	2,943	1,144	211	1,355
東北工業大学	3,545	3,302	6,517	230	1,067	3,154	49	-	49
東北福祉大学	5,885	4,319	9,602	789	1,078	3,633	331	242	573
東北文化学園大学	2,465	3,065	5,747	700	920	2,197	142	76	218
東北医科薬科大学	2,629	749	1,480	1,782	260	587	133	59	192
東北医科薬科大学医学分館	2,629	1,614	2,730	1,782	855	1,768	61	66	127
宮城学院女子大学	3,237	6,531	13,535	599	1,195	3,624	317	745	1,062
尚絅学院大学	2,112	1,963	5,003	281	504	1,751	1,064	21	1,085
聖和学園短期大学図書館	523	1,300	2,127	165	301	651	118	3	121
仙台青葉学院短期大学	1,647	5,598	9,834	342	758	1,927	47	94	141
東北生活文化大学・同短期大学部	580	-	953	161	-	461	17	1	18
ノースアジア大学	795	692	1,149	141	180	783	151	1	152
東北芸術工科大学	2,451	6,628	17,001	400	502	1,367	327	61	388
羽陽学園短期大学	188	990	3,059	59	82	349	-	9	9
東北文教大学・同短期大学部	713	1,886	3,215	193	232	594	239	6	245
東北公益文科大学	989	3,531	8,220	153	643	1,627	107	123	230
医療創生大学	1,144	2,186	4,936	163	470	1,223	433	43	476
奥羽大学	1,066	356	2,625	338	105	1,007	71	26	97
郡山女子大学	921	-	1,166	184	-	568	182	6	188
東日本国際大学・いわき短期大学	1,001	849	2,122	185	167	397	16	32	48
日本大学工学部分館	4,372	1,805	3,963	334	296	4,591	159	163	322
桜の聖母短期大学	262	1,086	2,341	86	197	510	1	21	22
福島学院大学	763	1,496	2,563	106	230	404	38	49	87

(3) 雑誌・新聞所蔵及び受付種類数

(令和3年度分)

図書館名	所蔵			受付種類数		
	和 (種)	洋 (種)	計 (種)	和 (種)	洋 (種)	計 (種)
弘前大学	18,992	6,362	25,354	1,683	125	1,808
岩手大学	9,302	2,182	11,484	6,427	246	6,673
東北大学(本館)	27,317	17,683	45,000	3,341	1,872	5,213
同 医学分館	5,041	10,096	15,137	579	838	1,417
同 北青葉山分館	2,593	8,765	11,358	248	715	963
同 工学分館	4,011	4,369	8,380	590	472	1,062
同 農学分館	4,371	2,303	6,674	722	216	938
宮城教育大学	2,272	640	2,912	216	15	231
秋田大学	6,693	2,611	9,304	313	28	341
同 医学部分館	2,166	1,790	3,956	307	28	335
山形大学中央図書館	10,081	3,203	13,284	592	24	616
同 医学部図書館	3,140	1,877	5,017	228	18	246
同 工学部図書館	2,042	1,386	3,428	186	14	200
同 農学部図書館	2,635	621	3,256	148	4	152
福島大学	11,032	2,766	13,798	1,421	72	1,493
青森公立大学	388	714	1,102	166	18	184
青森県立保健大学	950	241	1,191	487	9	496
岩手県立大学	764	462	1,226	302	67	369
宮城大学大和キャンパス	2,001	492	2,493	439	42	481
同 太白キャンパス	2,252	259	2,511	159	33	192
秋田県立大学	2,812	1,073	3,885	585	117	702
秋田公立美術大学	106	21	127	64	21	85
国際教養大学	108	125	233	72	43	115
山形県立保健医療大学	1,115	228	1,343	186	9	195
山形県立大学	241	37	278	128	10	138
会津大学	637	834	1,471	171	4	175
会津大学短期大学部	104	88	192	106	17	123
福島県立医科大学	4,625	3,091	7,716	703	45	748
柴田学園大学	256	7	263	69	8	77
八戸学院大学	67	133	200	157	6	163
八戸工業大学	857	611	1,468	508	-	508
弘前学院大学	718	43	761	95	14	109
青森中央学院大学・同短期大学	239	76	315	157	46	203
岩手医科大学	5,674	2,579	8,253	1,124	68	1,192
富士大学	3,383	249	3,632	675	28	703
盛岡大学図書館	2,805	257	3,062	277	42	319
修紅短期大学	5	-	5	35	1	36
仙台大学	1,316	163	1,479	109	44	153
仙台白百合女子大学	335	98	433	194	30	224
石巻専修大学	1,317	819	2,136	185	33	218
東北学院大学(中央)	7,881	2,467	10,348	1,254	151	1,405
同 工学分館	1,870	1,409	3,279	327	88	415
同 泉分館	2,790	1,136	3,926	538	94	632
東北工業大学	1,050	1,028	2,078	94	1,589	1,683
東北福祉大学	4,280	696	4,976	1,327	86	1,413
東北文化学園大学	1,117	136	1,253	244	10	254
東北医科薬科大学	542	484	1,026	143	15	158
東北医科薬科大学医学分館	112	57	169	41	3	44
宮城学院女子大学	9,017	816	9,833	960	104	1,064
尚綱学院大学	938	180	1,118	200	10	210
聖和学園短期大学図書館	286	4	290	188	-	188
仙台青葉学院短期大学	341	30	371	118	14	132
東北生活文化大学・同短期大学部	182	39	221	83	7	90
ノースアジア大学	2,054	306	2,360	442	42	484
東北芸術工科大学	225	129	354	197	36	233
羽陽学園短期大学	135	17	152	71	-	71
東北文教大学・同短期大学部	1,209	44	1,253	277	10	287
東北公益文科大学	187	44	231	97	14	111
医療創生大学	925	500	1,425	64	10	74
奥羽大学	1,141	1,253	2,394	258	27	285
郡山女子大学	958	90	1,048	128	3	131
東日本国際大学・いわき短期大学	272	122	394	42	2	44
日本大学工学部分館	1,104	1,368	2,472	88	29	117
桜の聖母短期大学	112	28	140	64	5	69
福島学院大学	107	39	146	45	1	46

協議会総会当番地区・当番大学

回	年	当番地区	当番大学	回	年	当番地区	当番大学
	昭和				平成		
1	22	宮城	東北大学	44	元	山形	山形大学
2	23	〃	仙台工業専門学校	45	2	青森	弘前大学
3	24	〃	東北学院大学	46	3	宮城	石巻専修大学
4	24	〃	東北大学	47	4	岩手	富士大学
5	25	岩手	岩手大学	48	5	福島	郡山女子大学
6	26	山形	山形大学	49	6	宮城	東北薬科大学
7	27	青森	弘前大学	50	7	秋田	秋田経済法科大学
8	28	福島	福島大学	51	8	山形	山形大学
9	29	秋田	秋田大学	52	9	宮城	東北工業大学
10	30	宮城	宮城学院女子大学	53	10	青森	青森公立大学
11	31	岩手	岩手医科大学	54	11	岩手	盛岡大学・盛岡短期大学
12	32	山形	山形大学	55	12	宮城	宮城教育大学
13	33	秋田	秋田大学	56	13	福島	奥羽大学
14	34	青森	弘前大学	57	14	秋田	秋田県立大学
15	35	福島	福島県立医科大学	58	15	宮城	東北福祉大学
16	36	宮城	東北大学	59	16	山形	山形大学
17	37	岩手	岩手大学	60	17	青森	青森大学・青森短期大学
18	38	福島	福島大学	61	18	宮城	宮城大学
19	39	宮城	東北学院大学	62	19	岩手	岩手県立大学
20	40	秋田	秋田大学	63	20	福島	いわき明星大学
21	41	山形	山形大学	64	21	宮城	仙台白百合女子大学
22	42	宮城	東北薬科大学	65	22	秋田	国際教養大学
23	43	青森	弘前大学	66	23	山形	山形大学
24	44	岩手	奥州大学	67	24	宮城	東北大学
25	45	宮城	東北工業大学	68	25	青森	八戸工業大学
26	46	福島	福島県立医科大学	69	26	岩手	岩手大学
27	47	秋田	秋田経済大学	70	27	宮城	宮城教育大学
28	48	宮城	宮城教育大学	71	28	福島	福島大学
29	49	山形	山形大学	72	29	秋田	秋田公立美術大学
30	50	青森	弘前大学	73	30	宮城	東北学院大学
31	51	宮城	東北大学		令和		
32	52	岩手	岩手大学	74	元	山形	山形大学
33	53	福島	福島大学	75	2	青森	弘前大学
34	54	宮城	東北福祉大学	76	3	宮城	宮城大学
35	55	秋田	秋田大学	77	4	岩手	岩手医科大学
36	56	山形	山形大学	78	5	福島	(日本大学図書館工学部分館)
37	57	宮城	宮城学院女子大学	79	6	宮城	
38	58	青森	弘前大学	80	7	秋田	
39	59	岩手	岩手医科大学	81	8	山形	
40	60	宮城	東北大学				
41	61	福島	福島県立医科大学				
42	62	秋田	秋田大学				
43	63	宮城	東北学院大学				

※第72回総会において、81回までの当番地区が確認された。

東北地区大学図書館協議会 役員館一覧

回次 (任期)	常任 幹事館	幹事館			監査館		審査委員館(平成19年8月までは論文審査館)		
		(国立)	(公立)	(私立)	(公立)	(私立)	(国立)	(公立)	(私立)
第46回総会 (H3.9～H5.8)	東北大学	東北大学 岩手大学	福島県立会津短期大学	宮城学院女子大学 石巻専修大学	宮城県農業短期大学	東北福祉大学	東北大学 岩手大学	福島県立医科大学 山形県立米沢女子短期大学	東北工業大学 日本大学工学部
第48回総会 (H5.9～H7.8)	東北大学	東北大学 宮城教育大学	会津大学短期大学部	東北福祉大学 いわき明星大学	宮城県農業短期大学	東北学院大学	東北大学 宮城教育大学	福島県立医科大学 秋田県立農業短期大学	八戸工業大学 秋田経済法科大学
第50回総会 (H7.9～H9.8)	東北大学	東北大学 秋田大学	会津大学	東北薬科大学 富士大学	宮城県農業短期大学	宮城学院女子大学	東北大学 秋田大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大学	仙台大学 郡山女子大学
第52回総会 (H9.9～H11.8)	東北大学	東北大学 福島大学	会津大学	八戸工業大学 東北工業大学	宮城県農業短期大学	宮城学院女子大学	東北大学 福島大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大学	仙台大学 郡山女子大学
第54回総会 (H11.9～H13.8)	東北大学	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	秋田経済法科大学 東北文化学園大学	山形県立米沢女子短期大学	宮城学院女子大学	東北大学 山形大学	秋田県立大学 秋田公立美術工芸短期大学	仙台大学 盛岡大学
第56回総会 (H13.9～H15.8)	東北大学	東北大学 弘前大学	山形県立保健医療大学	仙台白百合女子大学 秋田経済法科大学	秋田県立大学	東北福祉大学	東北大学 弘前大学	宮城大学 宮城県農業短期大学	八戸大学 東北工業大学
第58回総会 (H15.9～H17.8)	東北大学	東北大学 岩手大学	秋田県立大学	宮城学院女子大学 いわき明星大学	宮城大学	仙台白百合女子大学	東北大学 岩手大学	青森県立保健大学 岩手県立大学	宮城学院女子大学 いわき明星大学
第60回総会 (H17.9～H19.8)	東北大学	東北大学 宮城教育大学	宮城大学	東北学院大学 岩手医科大学大学	岩手県立大学	東北福祉大学	東北大学 宮城教育大学	青森県立保健大学 青森公立大学	仙台大学 郡山女子大学
第62回総会 (H19.9～H21.8)	東北大学	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	東北福祉大学 郡山女子大学	青森県立保健大学	東北学院大学	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	東北福祉大学 郡山女子大学
第64回総会 (H21.9～H23.8)	東北大学	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	盛岡大学 仙台大学	福島県立医科大学	石巻専修大学	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	盛岡大学 仙台大学
第66回総会 (H23.9～H25.8)	東北大学	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	東北薬科大学 東北文教大学・短期大学部	山形県立保健医療大学	岩手医科大学	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	東北薬科大学 東北文教大学・短期大学部
第68回総会 (H25.9～H27.8)	東北大学	東北大学 弘前大学	山形県立米沢女子短期大学	東北学院大学 八戸学院大学	秋田公立美術大学	東北工業大学	東北大学 弘前大学	山形県立米沢女子短期大学	東北学院大学 八戸学院大学
第70回総会 (H27.9～H29.8)	東北大学	東北大学 岩手大学	秋田公立美術大学	東北学院大学 青森中央学院大学	宮城大学	東北文化学園大学	東北大学 岩手大学	秋田公立美術大学	東北学院大学 青森中央学院大学
第72回総会 (H29.9～R1.8)	東北大学	東北大学 宮城教育大学	宮城大学	修紅短期大学 聖和学園短期大学	岩手県立大学	東北医科薬科大学	東北大学 宮城教育大学	宮城大学	修紅短期大学 聖和学園短期大学
第74回総会 (R1.9～R3.8)	東北大学	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	仙台青葉学院短期大学 東北芸術工科大学	青森公立大学	尚綱学院大学	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	仙台青葉学院短期大学 東北芸術工科大学
第76回総会 (R3.9～R5.8)	東北大学	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部 奥羽大学	会津大学短期大学部	仙台白百合女子大学	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部 奥羽大学

東北地区大学図書館協議会会則

昭和 22 年 5 月 30 日 制定

令和 2 年 9 月 30 日 最近改正

改正：昭和 28 年 11 月 13 日（第 1 条（名称）改正）、昭和 29 年 6 月 11 日（第 7 条（会費）、第 8 条（票決権）

改正）、昭和 31 年 10 月 5 日（第 6 条（監査館）追加）、昭和 33 年 10 月 7 日（第 5 条（顧問）追加）、昭和 34 年 8 月 4 日（第 9 条（会費）改正）、昭和 39 年 7 月 9 日（第 9 条（会費）改正・同第 2 項（会計年度）制定）、昭和 43 年 5 月 10 日（第 9 条（会費）改正）、昭和 46 年 5 月 13 日（第 9 条（会費）改正）、昭和 50 年 5 月 16 日（第 2 条（加盟組織の追加）改正）、昭和 53 年 10 月 19 日（第 9 条（会費・会計年度）改正）、昭和 56 年 10 月 22 日（第 6 条（幹事館を追加）改正）、昭和 61 年 9 月 25 日（第 9 条（会費）改正）、平成 3 年 9 月 26 日（第 9 条（会費）改正）、平成 6 年 9 月 21 日（第 9 条（会費）改正）、令和 2 年 9 月 30 日（第 9 条（会費）改正）

第 1 条 本会は東北地区大学図書館協議会と称する。

第 2 条 本会は東北地区における大学および国立工業高等専門学校に附属する図書館をもって組織し、図書館の施設、運営、管理などの進歩改善について、相互に連携協力することを目的とする。

第 3 条 本会は毎年 1 回、加盟館輪番により総会を開催する。但し必要に応じ、加盟館過半数の賛成を得て、臨時総会を開くことができる。

第 4 条 本会の目的を達成するため、随時図書館に関する講習会を開催、その他必要と認める事業を行うものとする。

第 5 条 本会に顧問を置くことができる。

顧問はかつて加盟館に在籍し、本会において特に顕著なる功績のあった者の中から、総会においてこれを推薦する。顧問は総会に出席し、また随時意見を述べることができる。

第 6 条 本会に常任幹事館、及び幹事館若干を置く。

1. 常任幹事館、幹事館は幹事会を組織し、協議会の運営にあたる。
2. 幹事会は毎年少なくとも 1 回招集するものとする。
3. 常任幹事館は協議会の会務を処理し、幹事会を招集する。
4. 常任幹事館、幹事館は総会において互選によってこれを定め、その任期を 2 カ年とする。但し、重任することができる。

第 7 条 本会の会計事務を監査するため若干の監査館をおく。監査館は総会において互選によってこれを定め、その任期を 2 カ年とする。但し、重任することができる。

第 8 条 本会の事務所は、常任幹事館内におく。

第 9 条 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。会費は年額 12,000 円とする。

2 本会の会計年度は毎年 9 月 1 日にはじまり、翌年 8 月 31 日に終わる。

第 10 条 総会の票決権は 1 館につき 1 票とし、議決は出席館過半数の賛成を要する。

第 11 条 本会則は総会の議決によらなければこれを変更することができない。

附 則

本会則は昭和 24 年 12 月 2 日から施行する。

(略)

附 則（昭和 53 年 10 月 19 日第 33 回総会）

この改正による会則は、昭和 53 年 10 月 19 日から施行し、昭和 54 年 9 月 1 日から適用する。

附 則（昭和 56 年 10 月 22 日第 36 回総会）

この改正による会則は、昭和 56 年 10 月 24 日から施行し、昭和 56 年 10 月 24 日から適用する。

附 則（昭和 61 年 9 月 25 日第 41 回総会）

この改正による会則は昭和 61 年 9 月 27 日から施行する。

附 則（平成 3 年 9 月 26 日第 46 回総会）

@ この改正による会則は平成 3 年 9 月 26 日から施行する。

附 則（平成 6 年 9 月 21 日第 49 回総会）

この会則は、平成6年9月21日から施行する。

附 則（令和2年9月30日第75回総会）

この会則は、令和2年9月1日から施行する。

○第38回東北地区大学図書館協議会総会議事録（抄）

昭和58年9月29日～30日（会場：弘前大学）

全体会議（第1日）

6. 役員の改選について

常任幹事館から、役員の任期（2年）が今年度で満了となるため、次期役員館選出について提案がなされた。これは、幹事館が国立2館、公立1館、私立2館の計5館で、うち1館が常任幹事館となる。

会計監査館は公立1館、私立1館で、学術奨励論文審査委員館は、国・公・私立各2館の計6館となる。

以上について各部会で検討し、選任の上全体会議で取りまとめることにした。又、会計監査館については、常任幹事館を決め、それに近い大学を推薦願いたいとの提案があり承認された。

東北地区大学図書館協議会表彰規程

平成19年9月20日制定

（趣旨）

第1条 この規程は、東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）会則第4条に基づく事業として加盟館の職員を表彰するため、必要な事項を定めるものとする。

（表彰の区分）

第2条 表彰は、次の各号の一に該当する者について行う。

- (1) 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者
- (2) 協議会の運営、発展のために功績顕著であった者

（応募の方法）

第3条 表彰を受けようとする者は、所属する加盟館の長に応募の申請を行う。加盟館の長は、応募の申請に基づき常任幹事館へ推薦を行う。

（審査委員会）

第4条 前条の推薦があった時は、審査委員会が審査を行う。

- 2 審査委員会は、常任幹事館及び加盟館の互選による審査委員館若干をもって組織する。
- 3 審査委員会に主査館を置き、常任幹事館をもって充てる。
- 4 審査委員会は、必要に応じ学識経験者の意見を参考とすることができる。

（表彰者の決定）

第5条 幹事会は、審査委員会の審査に基づき、表彰者を決定する。

（表彰状の授与等）

第6条 表彰に際しては、別紙様式による表彰状に併せて記念品を贈呈することができる。

- 2 表彰は、協議会の総会において行う。

（取扱要項への委任）

第7条 この規程に定めるもののほか、表彰について必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成19年9月20日から施行する。
- 2 東北地区大学図書館協議会学術奨励規程（昭和40年6月2日制定）は、廃止する。
- 3 東北地区大学図書館協議会表彰規程（昭和38年6月30日制定）は、廃止する。

東北地区大学図書館協議会表彰規程取扱要項

平成19年9月20日制定

- 第1 この取扱要項は、東北地区大学図書館協議会表彰規程（以下「規程」という。）第7条の規定に基づき表彰について必要な事項を定めるものである。
- 第2 規程第2条第1号の「図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者」とは次に掲げる者をいう。
- (1) 図書館活動における業績 業務処理の改善や業務遂行上の成果等で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動において先導的な意義を有するもの。
 - (2) 図書館情報学の研究、調査等の業績 図書館情報学に関する著作で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動に対して啓発性を有するもの。
 - (3) 前2号の業績は、個人以外にグループも対象とする。
- 第3 規程第2条第2号の「協議会の運営、発展のために功績顕著であった者」とは、加盟館に5年以上勤務した者のうち、規定文言の主旨に合致するものを対象とする。
- 第4 規程第3条の推薦の期日は、毎年5月末日までとする。
- 2 推薦は、別紙文書により行う。
 - 3 応募については、自薦、他薦を問わないものとする。
- 第5 主査館は、推薦調書（各写）を審査委員館に送付し、審査を依頼するものとする。
- 第6 審査は、会議又はその他の方法による。
- 第7 推薦調書を提出した審査委員館は、審査には加わらない。
- 第8 常任幹事館から推薦調書の提出があった場合は、常任幹事館を除く審査委員館の互選によって主査館を決定する。
- 第9 審査委員館は、当分の間、会則第6条に規定する幹事館をもって充てる。
- 第10 審査委員館は、審査結果を文書にて、その年の7月末日までに常任幹事館に報告する。
- 第11 常任幹事館は、審査委員会の結果を総会に報告するものとする。
- 第12 受賞者等については、その受賞事由、業績等の概要等を協議会誌に公表するものとする。

附 則

- 1 この取扱要項は、平成19年9月20日から施行する。
- 2 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項（平成2年9月20日制定）は、廃止する。

.....
表彰状様式1（第2条第1号該当者）

表 彰 状

殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものがあります
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会

.....
表彰状様式2（第2条第2号該当者）

表 彰 状

殿

あなたは本協議会の運営に尽力されるとともに大学図書館の発展に多大な貢献をされました
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会

(別紙)

文書番号
平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会常任幹事館

〇〇大学附属図書館長 殿

〇〇大学(附属)図書館長
〇〇〇〇 公印

表彰者の推薦について

下記の者を、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条〇号に基づく表彰者として推薦しますのでよろしくお取り計らい願います。

なお、別紙のとおり推薦調書を提出します。

記

〇 〇 〇 〇

別紙(第2条第1号該当者)

表彰者推薦調書

〇〇大学(附属)図書館

職名	氏名	生年月日	昭和 平成	年	月	日
推薦理由						
業績等	研究のテーマ 又は調査事項					
	発表集会等名					
	発表年月日					
	掲載誌名及び巻号					
	発行年月日					
	発行機関					
当該業績等に係る他組織等からの表彰の有無 (有の場合当該組織名)						
図書館業務歴						

備考

- 1) グループの業績等で推薦する場合は、氏名の欄は代表者名を記入し、推薦理由に当該グループ名を記載すること。
- 2) 業績等の記入欄については、該当する個所について記載すること。
- 3) その他参考となる資料を添付すること。

表彰者推薦調書

〇〇大学（附属）図書館

職名		氏名		生年月日	昭和 平成	年	月	日
推薦理由								
履 歴 事 項								
年	月	日	勤務内容等（大学等名及び業務）					
	～							
	～							
	～							
	～							
	～							
	～							
	～							
	～							
加盟館勤務年数計〇〇年								

備考

- 1) 勤務期間の計算は、暦日数によるものとし、日を月に換算する時は30日をもって1月とする。
- 2) 休職の期間（業務上の傷病の期間は除く）及び懲戒処分により停職された期間は、勤務期間から除算する。
- 3) その他参考となる資料があれば、添付すること。

東北地区大学図書館協議会研修部会設置要項

制定 平成 20 年 9 月 18 日

改正 平成 30 年 2 月 1 日

(目的)

第 1 条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に研修部会（以下「部会」という。）を設置し、具体的な研修実施のための企画立案を行い、協議会加盟館員の人材育成と交流の機会を図る。

(活動内容)

第 2 条 部会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 部会が主体となって実施する研修の企画
- (2) 研修会会場館（地区）との協力による集合型研修への協力
- (3) 研修結果・成果の協議会ウェブサイト等を利用した公開

(組織)

第 3 条 部会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 国立大学部会から推薦された者 2 名
- (2) 公立大学部会から推薦された者 1 名
- (3) 私立大学部会から推薦された者 2 名

2. 部会に主査を置く。主査は、委員の互選によるものとする。

(委嘱)

第 4 条 前条第 1 項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第 5 条 第 3 条第 1 項に掲げる委員の任期は 2 年とする。ただし、再任をさまたげない。

(協議会からの援助)

第 6 条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第 7 条 部会の庶務は常任幹事館において処理する。

(その他)

第 8 条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成 20 年 9 月 18 日から施行する。
- 2 東北地区大学図書館協議会研修検討 WG は、廃止する。

附 則

この要項は、平成 30 年 2 月 1 日から施行する。

東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会設置要項

平成 20 年 9 月 18 日制定

(目的)

第 1 条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）にウェブサイト運用部会（以下「部会」という。）を設置し、協議会の活動を広く公開するとともに加盟館及び図書館関連機関に有用な情報を提供する。

(活動内容)

第 2 条 部会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 協議会ウェブサイトの運用、管理、更新
- (2) 新規掲載コンテンツの企画

(組織)

第 3 条 部会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 国立大学部会から推薦された者 2 名
- (2) 公立大学部会から推薦された者 1 名
- (3) 私立大学部会から推薦された者 2 名

2. 部会に主査を置く。主査は、委員の互選によるものとする。

(委嘱)

第 4 条 前条第 1 項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第 5 条 第 3 条第 1 項に掲げる委員の任期は 2 年とする。ただし再任をさまたげない。

(協議会からの援助)

第 6 条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第 7 条 部会の庶務は、常任幹事館において処理する。

(その他)

第 8 条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成 20 年 9 月 18 日から施行する。
- 2 東北地区大学図書館協議会ウェブサイト開設WGは、廃止する。

記念事業基金積立要綱

昭和 57 年 10 月 14 日制定

当協議会が記念事業を将来行うに必要な基金のために、年度予算に一定積立として計上し、積立てる。

1. 年度の積立金額は、その年度会費総額の 10%を限度とする。
2. 期間は昭和 57 年度からとし、総会の議決により記念事業を行う予定の年度までとする。
3. 積立方法は、金融機関に口座を設け積立てる。
4. その支出については、総会の議決を経なければならない。
5. その会計事務は監査をうけ、総会に報告する。

東北地区大学図書館間相互利用手続き申し合わせ

平成 14 年 9 月 20 日 第 57 回東北
地区大学図書館協議会総会決定

第 56 回総会の協議結果を尊重し、東北地区大学図書館協議会に加盟する各大学図書館は、「国公立大学図書館間相互貸借に関する協定」の目的にある「図書館間の相互貸借の円滑化を図り、もってわが国の学術研究・教育の進展に寄与すること。」の精神を生かし、以下を目標として努力する。

記

1. 来館利用の際の持参書類については、従来必要とした、「利用依頼書・閲覧許可願」等に代り、所属大学発行の「身分証明書」、「学生証」等の本人確認が可能なものの提示により利用を可能とすること。
2. 各大学それぞれの事情があり（例：女子大学の場合における男子学生の入構等）、また、確実に資料を入手するためにも事前連絡は必要と思われるが、急な来館についても、受入館はできるだけのサービスを行うこと。
3. 相互利用を円滑に行うため、各館は所属する研究者、学生に対して相互利用手続きに関する十分な利用者教育を行うこと。
4. 相互利用を円滑に行うため、各館は「図書館間相互協力便覧」に利用上の留意事項を明記するとともに、各館のホームページ上での利用案内においても明記すること。

東北地区国立大学図書館防災連絡網設置要項

平成12年4月20日 第31回国立
大学図書館東北地区協議会決定
平成16年4月22日 第35回東北
地区国立大学図書館協会改正

(目的)

第1条 国立大学図書館協会東北地区協定会則（以下「会則」という。）第2条に定める会員（以下「会員」という。）において地震等による激甚な災害が発生した際、会員における図書館業務の維持に関し、会員間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

(地区防災連絡網)

第2条 地区防災連絡網は会員により構成し、会員間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、国立大学図書館協会の東北地区理事館を充て、地区連絡館が被災した場合は、東北地区国立大学図書館協会総会の当番館がこれに代わるものとする。

(地区防災連絡館)

第3条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱等をさけるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。但し、会員における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等会員間に共通する日常業務の維持に関して協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び会員の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、必要がある場合は、国立大学図書館協会の他地区防災連絡館等との連絡にあたるものとする。

5 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会の公立大学及び私立大学の代表との連絡窓口になるものとする。

(会員の連絡窓口の設置)

第4条 会員に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

(雑則)

第5条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、会則第5条に定める会議において定める。

附 則

この要項は、平成12年4月20日から施行する。

附 則

1 この要項は、平成16年4月22日から施行する。

2 第2条2項の規定において、東北地区理事館と東北地区国立大学図書館協会総会の当番館が重複した場合、地区防災連絡館は会則第5条に定める総会において決定する。

東北地区大学図書館協議会公立部会防災連絡網設置要項

平成12年9月20日

東北地区大学図書館協議会（公立部会）

（目的）

第1条 東北地区大学図書館協議会公立部会加盟館（以下「公立部会加盟館」という。）において地震等による激甚な災害により被災した際、公立部会加盟館における図書館業務の維持に関し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

（地区防災連絡網）

第2条 地区防災連絡網は、公立部会加盟館により構成し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会公立部会幹事館（以下「公立部会幹事館」という。）を充て、公立部会幹事館が被災した場合は、公立部会会計監査館がこれに代わるものとする。

（被災館）

第3条 地震等による激甚な災害に被災した公立部会加盟館（以下「被災館」という。）は、被災状況を地区防災連絡館へ連絡するものとする。

（地区防災連絡館）

第4条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱を避けるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。ただし、個々の公立部会加盟館における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等公立部会加盟館に共通する日常業務の維持に関して協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び公立部会加盟館の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会加盟の国立部会及び私立部会の代表との連絡窓口になるものとする。

（会員の連絡窓口の設置）

第5条 公立部会加盟館に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

（雑則）

第6条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、東北地区大学図書館協議会公立部会総会において定めるものとする。

附 則

この要項は、平成12年9月20日から施行する。

東北地区大学図書館協議会大学教育部会設置要項

平成24年10月19日制定

(目的)

第1条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に大学教育部会（以下「部会」という。）を設置し、大学図書館に関わる教職員協働型の大学教育のあり方について検討するとともに、協議会としての事業化の企画立案を行い、加盟大学における「学生の主体的学び」を育成するための取り組みを強化する。

(活動内容)

第2条 部会は、次に掲げる事項について活動する。

- 一 教育支援、大学生の学習支援を効果的に実施するために、加盟大学における知見を集約化し、共有する。
- 二 大学教育そのものに関する図書館員の知見を深めるための方策を検討し、協議会としての事業化の提案を行う。
- 三 教育支援、大学生の学習支援を効果的に実施するための方策を検討し、協議会としての事業化の提案を行う。

(組織)

第3条 部会は、原則として次に掲げる委員をもって組織する。

- 一 国立大学部会の委員 2人
- 二 公立大学部会の委員 1人
- 三 私立大学部会の委員 3人

2 部会に主査を置き、前項に掲げる委員の互選によって定める。

(委嘱)

第4条 前条第1項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第5条 第3条第1項に掲げる委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(協議会からの援助)

第6条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第7条 部会の庶務は、常任幹事館において処理する。

(その他)

第8条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成24年10月19日から施行する。
- 2 この要項の施行後最初に委嘱される委員の任期は、第5条本文の規定にかかわらず、平成25年8月31日までとする。

東北地区大学図書館協議会 加盟館名簿

2023 (令和5) 年4月1日現在

図書館名 (国立15館)	電話番号	住所、E-mail	図書館長・センター長等	事務責任者等
1 弘前大学附属図書館	0172-39-3155	036-8560 弘前市文京町1 jm3155@hirosaki-u.ac.jp	図書館長 (併:教授) 羽淵 一代	事務長 三上 豊
2 岩手大学図書館	019-621-6082	020-8550 盛岡市上田3丁目18-8 lsomu@iwate-u.ac.jp	図書館長 (併:副学長(情報統括・広報・図書館担当)) 山本 欣郎	学術情報課長 庭田 昌紀
3 東北大学附属図書館	022-795-5911	980-8576 仙台市青葉区川内27-1 lib-som@grp.tohoku.ac.jp	図書館長 (併:副学長) 大隅 典子 副館長 (併:教授) 有光 秀行	事務部長 佐藤 初美
4 同 医学分館	022-717-7973	980-8575 仙台市青葉区星陵町1-1 lib-med2@grp.tohoku.ac.jp	医学分館長 (併:教授) 藤森 研司	専門員 照内 弘通
5 同 北青葉山分館	022-795-6368	980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 klib-k@grp.tohoku.ac.jp	北青葉山分館長 (併:教授) 大野 泰生	図書館係長 代田 有紗
6 同 工学分館	022-795-5892	980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-03 elib-k@grp.tohoku.ac.jp	工学分館長 (併:教授) 小玉 哲也	専門員 横山 美佳
7 同 農学分館	022-757-4022	980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1 alib@grp.tohoku.ac.jp	農学分館長 (併:教授) 佐藤 幹	図書館係長 勝本 加奈子
8 宮城教育大学附属図書館	022-214-3348	980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉149 library@grp.miyakyo-u.ac.jp	図書館長 (併:副学長) 前田 順一	学術情報課長 大沼 忠弘
9 秋田大学附属図書館	018-889-2273	010-8502 秋田市手形学園町1-1 libsomu@jimu.akita-u.ac.jp	図書館長 (併:特別教授) 山本 浩史	図書館・情報推進課長 利 勝利
10 同 医学部分館	018-884-6052	010-8543 秋田市本道1丁目1-1 ibun@jimu.akita-u.ac.jp	分館長 (併:教授) 八月朔日 泰和	主任 工藤 友美子
11 山形大学附属図書館 中央図書館	023-628-4904	990-8560 山形市小白川町1-4-12 yu-jmtosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp	中央図書館長 (併:教授) 池田 光則	研究情報部長 吉田 正男
12 同 医学部図書館	023-628-5054	990-9585 山形市飯田西2-2-2 yu-itosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp	医学部図書館長 (併:教授) 村上 正泰	係長 赤塚 美保
13 同 工学部図書館	0238-26-3019	992-8510 米沢市城南4丁目3-16 yu-koutosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp	工学部図書館長 (併:教授) 安田 宗樹	係長 會田 忠弘
14 同 農学部図書館	0235-28-2810	997-8555 山形県鶴岡市若葉町1-23 yu-notosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp	農学部図書館長 (併:教授) 芦谷 竜矢	主任 高橋 圭
15 福島大学附属図書館	024-548-8083	960-1293 福島市金谷川1番地 k-soumu@lib.fukushima-u.ac.jp	図書館長 (副学長) 新田 洋司	学術情報課長 小沼 清二

図書館名 (公立12館)	電話番号	住所、E-mail	図書館長・センター長等	事務責任者等
16 青森公立大学図書館	017-764-1551	030-0196 青森市合子沢山崎153-4 lib@b.nebuta.ac.jp	図書館長 香取 真理	教務学事グループ 副参事 鹿内 一徳
17 青森県立保健大学附属図書館	017-765-2011	030-8505 青森市大字浜館字間瀬5-1 library@auhw.ac.jp	附属図書館長 川内 規会	経営企画室副参事 (図書課長兼務) 坂上 博章
18 岩手県立大学 メディアセンター	019-694-2070	020-0693 滝沢市巣子152-52 library@ml.iwate-pu.ac.jp	メディアセンター長 (併:教授) 猪股 俊光 宮古短期大学部図書館長 (併:准教授) 昇高 茂樹	教育支援室長 関屋 一博
19 宮城大学学術情報センター (大和キャンパス図書館)	022-377-8313	981-3298 黒川郡大和町学苑1-1 tosho@myu.ac.jp	学術情報センター長 (併:教授) 茅原 拓朗	学術情報室 吉川 陽大
宮城大学学術情報センター (太白キャンパス図書館)	022-245-1046	982-0215 仙台市太白区旗立2-2-1 f-tosho@myu.ac.jp	学術情報センター長 (併:教授) 茅原 拓朗	太白事務局教務・学生支援グループリーダー 高野 義仁
20 秋田県立大学附属図書館	018-872-1561	010-0195 秋田市下新城中野字街道端西241-438 a_library@akita-pu.ac.jp	図書館長 (併:副学長) 蒔田 明史	事務局次長 鈴木 修
21 秋田公立美術大学附属図書館	018-888-8106	010-1632 秋田市新屋大川町12-3 library01@akibi.ac.jp	附属図書館長 大八木 敦彦	総務課長補佐 兼 附属図書館事務長 佐々木 謙
22 国際教養大学中嶋記念図書館	018-886-5907	010-1292 秋田市雄和椿川字奥椿岱193-2 lib1@aiu.ac.jp	図書館長 (併:教授) 豊田 哲也	学修支援室長 須田 幸子
23 山形県立保健医療大学 附属図書館	023-686-6671	990-2212 山形市上柳260番地 kanri@yachts.ac.jp	図書館長 (併:教授) 菅原 京子	主査 村川 康郎
24 山形県立大学法人 附属図書館	0238-22-7334	992-0025 米沢市通町6-15-1 tosho@yone.ac.jp	図書館長 (併:教授) 小池 隆太	図書館管理係長 角屋 聡美
25 会津大学情報センター 附属図書館	0242-37-2545	965-8580 会津若松市一箕町鶴賀 library@u-aizu.ac.jp	情報センター長 (併:教授) 北道 淳司	情報センター主幹 兼 事務長 五十嵐 卓児
26 会津大学短期大学部 附属図書館	0242-37-2458	965-8570 会津若松市一箕町大字八幡字門田1-1 tosho@jc.u-aizu.ac.jp	附属図書館長 (併:教授) 柴崎 恭秀	
27 福島県立医科大学附属 学術情報センター	024-547-1687	960-1297 福島市光が丘1 lib@fmu.ac.jp	センター長 右田 清志	総務課長兼学術情報室長 奥寺 洋暁
図書館名 (私立34館)	電話番号	住所、E-mail	図書館長・センター長等	事務責任者等
28 柴田学園大学附属図書館	0172-33-2289	036-8530 弘前市清原1-1-16 univ_tosyokan@shibata.ac.jp	図書館長 富田 雅弘	
29 八戸学院図書館	0178-30-1695	031-8588 八戸市美保野13-98 tosyokan@hachinohe-u.ac.jp	図書館長 (併:教授) 奈良 卓	図書館事務室長 織戸 浩

30	八戸工業大学図書館	0178-25-8031	031-8501 八戸市大字妙字大開88-1 tosyo@hi-tech.ac.jp	図書館長（併：教授） 鈴木 寛	事務長 谷津 昌樹
31	弘前学院大学附属図書館	0172-34-5211	036-8577 弘前市稔町13-1 sisyo2@hirogaku-u.ac.jp	図書館長（併：教授） 佐藤 和博	
32	青森中央学院大学・青森中央短期大学 図書館情報センター	017-728-0131	030-0132 青森県青森市横内字神田12 lib@aomoricgu.ac.jp	図書館情報センター長（併：教授） 北原 かな子	（併）学事担当次長 石田 智久
33	岩手医科大学附属図書館	019-651-5111	028-3694 紫波郡矢巾町医大通1-1-1 tosho@j.iwate-med.ac.jp	図書館長（併：教授） 古山 和道 副館長（併：教授） 原田 英光	総括課長 川崎 かおる
34	富士大学図書館	0198-22-4986	025-8501 花巻市下根子450-3 tosyokan@fuji-u.ac.jp	図書館長 早川 光彦	課長 佐藤 育子
35	盛岡大学図書館	019-688-5561	020-0694 滝沢市砂込808 library@morioka-u.ac.jp	図書館長 矢野 千載 副館長 吉植 庄栄	事務室長 畑村 とも子
36	修紅短期大学図書館	0191-24-2211	021-0902 一関市萩荘字竹際49-1 library@shuko.ac.jp	図書館長（併：学科長） 鈴木 美樹子	職員（司書補） 齋藤 美紀子
37	仙台大学附属図書館	0224-55-1399	989-1693 柴田郡柴田町船岡南2-2-18 library@sendai-u.ac.jp	図書館長 日下 三男	今村 絵里香
38	仙台白百合女子大学図書館	022-374-5090	981-3107 仙台市泉区本町6-1 library@sendai-shirayuri.ac.jp	図書館長（併：教授） 三浦 主博	図書館事務長 石岡 宏美
39	石巻専修大学図書館	0225-22-7718	986-8580 石巻市南境新水戸1 lib@isenshu-u.ac.jp	図書館長（教授） 松崎 俊之	事務次長 尾崎 由明
40	東北学院大学図書館 （中央図書館）	022-264-6493	980-8511 仙台市宮城野区土樋1-3-1 lib-office@mail.tohoku-gakuin.ac.jp	図書館長（併：教授） 松村 尚彦	図書館情報課長 雲走 正和
41	東北工業大学附属図書館	022-305-3178	982-8577 仙台市太白区八木山香澄町35番1号 library-yagiyama@tohtech.ac.jp	図書館長（併：教授） 高橋 秀太郎	図書館事務長 目黒 裕二
42	東北福祉大学図書館	022-717-3319	981-8522 仙台市青葉区国見1-8-1 lib@tfu.ac.jp	図書館長（併：教授） 鍛代 敏雄	図書館課長 重松 積男
43	東北文化学園大学 総合情報センター図書館	022-233-3878	981-8551 仙台市青葉区国見6丁目45-1 lib@office.tbgu.ac.jp	総合情報センター長（併：教授） 鈴木 伸夫	図書館情報事務室課長 松浦 宝志
44	東北医科薬科大学附属図書館	022-727-0061	981-8558 仙台市青葉区小松島4-4-1 library@tohoku-mpu.ac.jp	図書館長（併：教授） 久下 周佐 医学分館長（併：教授） 高木 徹也	学務部図書館事務課課長 浅野 一

45	宮城学院女子大学図書館	022-279-5658	981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1 library@mgu.ac.jp	図書館長（併：教授） 西浦 和樹	庶務課長 赤井 史之
46	尚絅学院大学図書館	022-381-3440	981-1295 名取市ゆりが丘4-10-1 library@shokei.ac.jp	図書館長 太田 健児	教育研究支援課長 佐々木 真也
47	聖和学園短期大学図書館	022-376-8257	981-3213 仙台市泉区南中山5-5-2 seiwatandai.toshokan@seiwa.ac.jp	図書館長（併：教授） 佐々木 貴弘	
48	仙台青葉学院短期大学図書館	022-369-8003	984-0022 仙台市若林区五橋3-5-75 lib@seiyogakuin.ac.jp	図書館長（併：教授） 桑田 恵美子	
49	東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部附属図書館	022-272-7518	981-8585 仙台市泉区虹の丘1丁目18-2 library@mishima.ac.jp	図書館長（併：教授） 伊藤 常久	
50	ノースアジア大学附属図書館	018-836-2406	010-8515 秋田市下北手桜守沢46-1 naulib@nau.ac.jp	図書館長（併：教授） 藤本 剛	教務次長 高橋 裕之
51	東北芸術工科大学図書館	023-627-2044	990-9530 山形市上桜田3-4-5 library@aga.tuad.ac.jp	教学1課長 小野 瑠美	
52	羽陽学園短期大学附属図書館	023-655-2385	994-0065 天童市大字清池1559 tosho@uyo.ac.jp	附属図書館長（併：教授） 大関 嘉成	図書館係長 高橋 明子
53	東北文教大学・東北文教大学短期大学部附属図書館	023-688-7544	990-2316 山形市片谷地515 library@t-bunkyo.ac.jp	図書館長 松田 浩平	係長 芳賀 優子
54	東北公益文科大学図書館	0234-41-1177	998-8580 酒田市飯森山3-5-1 media@koeki-u.ac.jp	図書館長（併：准教授） 西村 まどか	図書館・IMC事務室長 小松 奈保美
55	医療創生大学図書館	0246-29-7121	970-8551 福島県いわき市中央台飯野5-5-1 library@isu.ac.jp	図書館長（併：教授） 小池 久恵	図書館事務室課長 半澤 智祐
56	奥羽大学図書館	024-932-9061	963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31-1 ohu-lib@jim.ohu-u.ac.jp	図書館長 小林 初夫	図書館事務部 図書館 主任 小林 克也
57	郡山女子大学図書館	024-932-4848	963-8503 郡山市開成3-25-2 library@koriyama-kgc.ac.jp	図書館長（併：副学長） 齋藤 美保子 副館長（併：教授） 桑野 聡	司書係長（併：講師） 和知 剛
58	東日本国際大学・いわき短期大学昌平図書館	0246-35-0416	970-8023 いわき市平鎌田字寿金沢37 shk_lib@tonichi-kokusai-u.ac.jp	図書館長 三重野 徹	課長 織内 春江
59	日本大学図書館工学部分館	024-956-8642	963-8642 郡山市田村町徳定字中河原1 ceb.toshokan@nihon-u.ac.jp	工学部分館長（併：教授） 濱田 幸雄	図書館事務課長 小野 信太郎
60	桜の聖母短期大学図書館情報センター	024-534-7137	960-8585 福島市花園町3-6 lib-c@ssjc.ac.jp	図書館情報センター長 遠藤 修司	司書 事務職 川村 瑠莉花、安田 ゆう子
61	福島学院大学図書館情報センター	024-553-2087	960-0181 福島市宮代乳児池1-1 tosho@fukushima-college.ac.jp	図書館長（併：教授） 梅宮 れいか	業務課主任 善方 和美

公益財団法人 田嶋記念大学図書館振興財団

令和5年度 助成募集のご案内

本財団は、我が国の大学図書館の図書・文書・資料の保管及び管理設備の整備に対する助成と、図書・文書・資料の管理システム及び保存技術に関する研究に対する助成をおこなっており、大学図書館の一層の充実、発展を図ることを目的としています。

助成金交付の概要

助成対象

- ①大学図書館の図書・文書・資料の保管・管理設備に対する助成
- ②大学図書館の図書・文書・資料の整備に対する助成
- ③大学図書館の図書・文書・資料の管理システム・保存技術に関する研究者または研究団体に対する助成
- ④大学図書館の図書・文書・資料の保存環境の整備並びに長期保存施策に対する助成

募集期間

- ・毎年10月1日より11月30日

募集地域および応募資格

- ・日本国内に所在する大学図書館又は研究者・研究団体

募集要領の掲載（毎年9月掲載予定）

- ・国立大学図書館協力委員会（JULIB）のホームページ
- ・公益財団法人 公益法人協会の運営する「情報公開共同サイト」

公益財団法人 田嶋記念大学図書館振興財団

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2

事務局 清野・秋鹿

TEL:03-5294-1666

N-CLASS蔵書点検アプリ

スマート蔵点

スマホで蔵書点検を より早く・簡単に。



作業時間を
約80%削減

※当社実証
実験による

1万冊の場合 ▶ バーコードラベル：約10.7時間
スマート蔵点：約 2.0時間

- ✓ 複数資料の一括読み取りにより、蔵書点検を効率化
- ✓ 画面上で誤配架資料の確認が可能
- ✓ 基幹システムをカスタマイズせず、独立した運用が可能

<カメレオンコード>は株式会社シフトの登録商標です。

ナカバヤシ株式会社 図書館ソリューション営業部

東京 〒174-8602 東京都板橋区東坂下2丁目5-1 TEL:03-3558-1251 FAX:03-3558-1260
 大阪 〒599-8116 大阪府堺市東区野尻町221番地3 TEL:072-286-8020 FAX:072-286-8021
 名古屋 〒456-0053 名古屋市熱田区一番2丁目2-6 TEL:052-661-3771 FAX:052-661-3775
 福岡 〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭5丁目7-11 TEL:092-641-3661 FAX:092-641-3699

札幌 仙台 横浜 広島 高松

HP : <https://www.nakabayashi.co.jp/> MAIL : toshokan@nakabayashi.co.jp

動画公開中

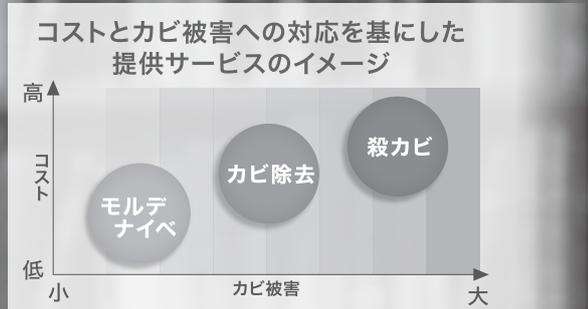


かけがえのない図書・資料を守ります

日本ファイリングの カビ対策

貴重な資料に、カビの酵素が原因で紙の力が極端に落ちる「老け」や「シミ」が発生することがあります。カビは人体にとっても有害である上、条件さえ整えば瞬間に大量繁殖します。日本ファイリングは多数の実績に基づいた、被害の状況に応じた処置やカビ対策をご提供いたします。

3種のサービスを用意しています。発生してしまったカビの規模・程度に応じて最適なサービスをご提案いたします。



低コストで防カビ・防虫ができる無酸素パック

モルデナイベ

バリアフィルム内を無酸素状態にすることで、カビの発生を防ぎます。水損した図書に対しても、高い防カビ効果を上げた実績があります。



簡単確実に密封できます

現地で出来るクリーニングサービス

カビ除去サービス

発生状況を確認し、現地でカビを確実に不活化します。図書だけでなく書架等の周辺環境のクリーニングも承ります。



ウェットクリーニング

図書内部までの完全な殺カビ

殺カビサービス

カビが発生してしまった図書を専用チャンバーで真空引きし確実に殺カビします。処理済の図書はそのまま安全にご利用いただけます。

「殺カビ サービス」の特長

- 表面だけではなく、図書の内部まで殺カビ
- ビジネス文書、雑誌等にも対応可能
- 処理済の図書・資料はそのままの状態で使用可能

殺カビ サービス フロー

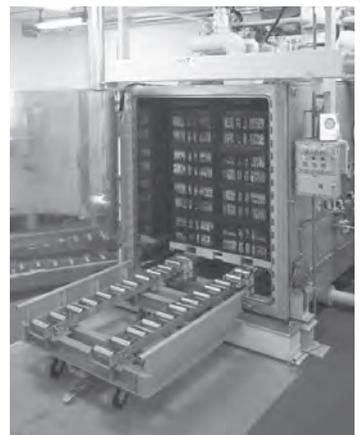
コンテナ引取り
(もしくは当社へ送品)



お預かりから再納品までは
最短で約2週間



処理済みコンテナを納品



当社の専用処理チャンバー

よりよい保管システムを提供する



日本ファイリング

お申込み・
お問い合わせ

<https://www.nipponfiling.co.jp>

☎ 0120-808-977 ※電話受付:月～金(土・日・祝日を除く)9:00～17:00

ISO14001/ISO9001 認証取得企業

本社/〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2 支店/大阪・名古屋 営業所/札幌・仙台・広島・福岡

快適な空間を創造・ご提案

※トータルプランニングから設計・施工迄

- ・経験豊富なスタッフが対応します。
- ・安心・安全・エコな商品を提供します。
- ・スピーディーな対応をいたします。



営業品目

木製家具・事務用家具・間仕切家具
内装工事(壁・床)・カーテン・ブラインド工事
看板サイン工事・アクリル・ステンレス加工
図書用品・家具リニューアル
建築工事一式・リフォーム工事(レイアウト変更)

取引メーカー

- ・(株)天童木工・カリモク家具(株)・ナゼロ(株)・(株)アダル
- ・(株)イトーキ・愛知(株)・コクヨ東北販売(株)・アイリスチトセ(株)
- ・(株)スミノエ・(株)川島織物セルコン・立川ブラインド工業(株)
- ・トーソー(株)・(株)品川アート・プロ



建設業 国土交通大臣許可(般30・第25354号)

大沼クリエーションサービス株式会社

<http://www.onuma-cs.co.jp/>



時代の半歩先を提案する OCS

本社 〒990-2142 山形県山形市松山三丁目12番14号

TEL 023(642)1390 FAX 023(624)1392

仙台営業所 〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町七丁目5番20号2F

TEL 022(290)5461 FAX 022(290)5462



教育と研究の未来

読み、学び、究めるひとと組織を支援する

Kinokuniya MIRAI - Portal for Research & Educational Resources



紀伊國屋書店 営業総本部の多岐にわたる活動の中から、広くご注目いただきたいさまざまな商品、事例、話題を拾い上げ、ニュース形式で発信する「教育と研究の未来」サイト。各ページの上部にご用意している各種メニューから、サービス案内（事業紹介）をご紹介します。

教育機関のお客様向けメニュー

長年培ったノウハウを持つ専門部署と地域に密着した全国各地の営業拠点が一体となって、それぞれのお客様にとって最適なサポートをご提供します。

- ◆大学・法人事務局向け
- ◆図書館関係者向け
- ◆研究者向け
- ◆学生の方へ
(教科書販売ストアMyKiTS情報)



画面右メニューにもご注目ください

紀伊國屋書店の幅広い事業を、内容・目的別にコンパクトにまとめています。

メニュー例

- ・研修等書籍の一括購入
- ・図書館アウトソーシング
- ・教育・研究環境の整備サポート
- ・学内外資源のデジタル化
- ・新增設/キャンパスリニューアル
- ・学術雑誌・電子ジャーナル 他多数



@Kino_mirai

<https://mirai.kinokuniya.co.jp/>

BOOKS KINOKUNIYA 紀伊國屋書店

仙台営業所 TEL : 022-227-0301
弘前営業所 TEL : 0172-36-3755

\Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

東北地区大学図書館協議会誌 第74号

令和5年5月

発行 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学附属図書館内
東北地区大学図書館協議会
TEL: (022)-795-5910
編集 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学附属図書館
